

2014～2015年

次期クラブ三役研修会（1～3R）

総 合 資 料



日 時 : 2014年6月14日(土) 13:30～16:50

場 所 : 島根県立大学浜田キャンパス
〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2
Tel (0855) 24-2200

ライオンズクラブ国際協会 336-D地区
2014～2015年 次期萩キャビネット事務局
〒758-0025 山口県萩市大字土原字川島沖田 488 の3 2F
Tel (0838) 21-7257 Fax (0838) 21-7258
E-mail hagicabinet_336d@tenor.ocn.ne.jp

目 次

●来賓・講師 名簿	1
●次期 1～3R クラブ三役及び出席者名簿	2
●次期クラブ三役研修会(1～3R) 次第	3
●全体会議 席次	4
●会長分科会 席次	5
●グローバル会員増強チーム情報ガイド	6～15
●会長分科会 資料	16～26
●幹事・会計分科会 席次	27
●幹事・会計分科会 資料	28～35
●国際協会モットー	36
●2014～2015 年度 国際テーマのハイライト	37～39
●2014～2015 年度 ガバナーメッセージ	40
●2014～2015 年度 ガバナー基本方針	41～42
●2014～2015 年度 ロゴマーク	43
●2014～2016 年度 国際理事候補経歴書	44
●地区運営及び奉仕活動の重点	45～49
●第 23 回世界スカウトジャンボリーへの支援に関して	50
●クラブの運営について	51
●クラブの周年行事について	52
●2014～2015 年度 委員会構成・略称表	53
●2014～2015 年度 ガバナーズアワード(案)	54
●キャビネット業務分担表	55～58
●キャビネットローテーションについて	59
●取引銀行について	60
●任務の代行 (案)	61
●地区の組織と役員・委員の任務について	62～65
●2014～2015 年度 キャビネット旅費・慶弔規定について (案)	66
●3 3 6 -D 地区 リジョン連絡会議ガイドライン	67～68
●地区役員の連携活動について	69～70
●地区名誉顧問会議承認事項	71
●第 60 回地区年次大会決議事項	72
●各種会議日程 (案)	73
●2014～2015 ガバナー公式訪問予定日程 (案)	74～75
●次期キャビネット活動計画 (案)	76～78
●ライオンズクラブ国際協会 3 3 6 -D 地区組織表	79
●第 61 回年次大会運営組織表	80
●2014～2015 年度 ライオンズクラブ国際協会 3 3 6 複合地区組織表	81

次期クラブ三役研修会(1～3R)講師名簿

◎来賓・講師

氏名	役職名	所属クラブ
坂根 勝	地区ガバナー	松江
永井義夫	336複合地区ガバナー協議会元議長	浜田亀山
岡村聖爾	地区名誉顧問会議長	下関北
矢野敏明	次期第一副地区ガバナー	松江葵
組嶽晶一	地区常任名誉顧問	東出雲
大野美雄	キャビネット幹事	松江
野口泰男	キャビネット会計	松江

◎次期キャビネット

氏名	役職名	所属クラブ
竹下雅雄	地区ガバナーエレクト	萩
齋藤幸男	次期キャビネット幹事	萩
三好一敏	次期キャビネット会計	萩
阿合孝徳	次期キャビネット副幹事	松江葵
廣畑雅弘	次期キャビネット副幹事	萩
森田哲弘	次期キャビネット副幹事	萩

1～3R 次期クラブ三役研修会出席者名簿

R	Z	クラブ名	次期役職					参加人数		
			会長		幹事		会計			
1	1	安来	渡部成人	○	北垣年英	○	朝山直行	○	3	
		出雲広瀬	沖田 勇	○	岩坂久吉	○	太田仁志	○	3	
		東出雲	長谷川順子	○	江田澄雄	○	光浪喜美則	×	2	
		安来十神	小藤芳明	○	安藤 高	○	木戸芳己	○	3	
		伯太	小松原勝之	×	丸山征司	×	須山 昇	×	0	
		八雲	佐貫 裕	○	稲田 宗	×	春木 透	×	1	
	2	松江	竹田宏一	○	鷓鴣 治	○	持田幸治	○	3	
		松江湖城	児玉友伸 (代理:岡本店)	○	蒼座 誠	○	秀浦淑晃	×	2	
		大東	鳥谷吉朗	○	錦織弘秀	○	高橋雅彦	○	3	
		宍道	高橋陽介	○	高木健二	○	土江博美	○	3	
		鹿島島根	青山豪太郎	○	平塚二郎	○	松本仁司	○	3	
		美保関	河村哲也	○	鷓鴣善政	○	井上孝治	×	2	
		松江葵	日野修一	○	野津弘善	○	坂本俊雄	○	3	
		隠岐海士	村尾 周	○	保野昌和	○	岡本洋子	○	3	
2	1	出雲	児玉啓介	○	高木隆慈	○	黒田 茂	○	3	
		平田	角 健次	○	清原恵美子	○	梶谷直子	○	3	
		大社	村上光言	○	須佐公和	○	花房芳政	○	3	
		佐田	山本義隆	○	岩崎哲也	○	伊藤篤男	○	3	
		多伎町	梶谷宗克	○	小川道則	○	山本先人	○	3	
	2	出雲中央	児玉泰博	○	日下眞二	○	平岡官一	○	3	
		斐川	伊藤繁満	○	山本昭親	○	高橋 章	○	3	
		出雲南	小玉愛子	○	板倉正美	○	持田 昇	○	3	
		出雲レークヒル	園山充彦	○	有賀健一	×	渡部由美子	×	1	
	3	木次	板持達夫	×	高橋 潔	○	佐藤敏晴	○	2	
		三刀屋	都間正隆	○	坪原 実	○	松谷和夫	○	3	
		加茂島根	田中久隆	○	高木広明	×	成相克道	○	2	
		仁多	土屋武雄	○	恩田 博	×	金倉弘美	○	2	
		掛合	朝山 哲	○	白築敏弘	×	来原 薫	○	2	
		赤来	正木喜代隆	×	仁井康富	○	安部 亘	○	2	
		頓原	長島正一	○	岸 光研	○	上田進一	○	3	
		横田	小早川正幸	○	足立雅人	○	細木 晃	○	3	
		3	1	大田	渡辺眞司	○	近藤五朗	○	奈義良照正	○
石見	上林祐二			○	八田一利	○	大畑一登	○	3	
邑智大和	上原謙二			○	中村 健	×	岸本建夫	×	1	
瑞穂	三上和丸			○	野田修喜	○	澤田隆之	○	3	
2	浜田		福井伸夫	○	佐多 宗	○	大谷 太	○	3	
	江津		本田 博	○	砂田敏勝	○	横田深慈	○	3	
	益田		安達貞則	×	田中博幸	○	宅野浩一	○	2	
	浜田亀山		牛尾茂典	○	小谷芳昭	○	春木 徹	○	3	
	益田あけぼの		洪錫 圭	○	池田知久	○	野村俊悟	×	2	
	金城抱月		大石 寿	○	宮木竜一	○	前田幸子	○	3	
	桜江		今井久師	×	川崎泰孝	○	岩本 秀	×	1	
	浜田マリン		瀬川美恵子	○	堤 君枝	○	梅津友紀子	×	2	
										107

次期クラブ三役研修会(1～3R)次第

日 時 : 2014年6月14日(土) 13:00～16:50
場 所 : 島根県立大学浜田キャンパス

登 録 受 付 13:00～13:30

全 体 会 議 13:30～14:30

	司 会	
	次期キャビネット幹事	齋藤幸男
1、開会のゴング	地区ガバナー	坂根 勝
2、国旗に敬礼		
3、国家斉唱		
4、ライオンズクラブの歌 斉唱		
5、講師及び次期キャビネット幹事・会計の紹介	次期キャビネット幹事	齋藤幸男
6、挨拶	地区ガバナー	坂根 勝
7、挨拶並びに地区運営基本方針	地区ガバナーエレクト	竹下雅雄
8、研修会の説明	次期キャビネット幹事	齋藤幸男

研 修 会(分科会) 14:40～15:40

	司 会	
会長分科会	次期キャビネット幹事	齋藤幸男
会長の使命について(10分)	講師 地区ガバナー	坂根 勝
(20分)	講師 地区名誉顧問会議長	岡村聖爾
(20分)	講師 336複合地区ガバナー協議会元議長	永井義夫
質疑応答 (10分)		

	司 会	
幹事・会計分科会	次期キャビネット会計	三好一敏
幹事の任務について(15分)	講師 キャビネット幹事	大野美雄
会計の任務について(15分)	講師 キャビネット会計	野口泰男
(15分)	講師 常任名誉顧問	組嶽晶一
質疑応答 (15分)		

全 体 会 議 15:50～16:50

	司 会	
	次期キャビネット幹事	齋藤幸男
1、クラブ三役の使命について	地区名誉顧問会議長	岡村聖爾
2、GMTについて	地区常任名誉顧問	矢野敏明
3、ご助言	地区ガバナー	坂根 勝
	336複合地区ガバナー協議会元議長	永井義夫
4、閉会のゴング	地区ガバナー	坂根 勝

次期クラブ三役研修会 全体会議席次

2014年6月14日(土) 13:30～14:30(全体会議)

15:50～16:50(全体会議)

於: 島根県立大学浜田キャンパス 大講義室

次期キャビネット幹事

齋藤 幸男

司会

キャビネット会計

野口

泰男

キャビネット幹事

大野

美雄

地区常任名誉顧問

組嶽

晶一

次期第一副地区ガバナー

矢野

敏明

地区名誉顧問会議長

岡村

聖爾

336複合地区

ガバナー協議会元議長

永井

義夫

地区ガバナー

坂根

勝

地区ガバナーエレクト

竹下

雅雄

次期キャビネット会計

三好

一敏

次期キャビネット幹事

阿合

孝徳

演 台

自由席

次期クラブ三役研修会 会長分科会席次

2014年6月14日(土) 14:40～15:40

於:島根県立大学浜田キャンパス
中講義室5号室

次期キャビネット幹事

齋藤 幸男

司会

336 複合地区
ガバナー協議会元議長

永井 義夫

地区ガバナー

坂根 勝

地区ガバナー
エレクト

竹下 雅雄

地区名誉顧問会議長

岡村 聖爾

演 台

自 由 席



ライオンズクラブ国際協会

グローバル会員増強チーム

情報ガイド

Lions Clubs International

We make a difference.

300 W 22ND STREET • OAK BROOK ILLINOIS 60523-8842 USA • 630.571.5466



ライオンズクラブ国際協会グローバル会員増強チーム（GMT）へようこそ。GMTにおけるあなたの役割は、地域のライオンズクラブの健康と活力を維持する上で極めて重要です。その仕事には困難が伴いますが、大きなやりがいも得られるでしょう。チームとライオンズクラブの指導と意欲喚起に成功すれば、それが地域社会を改善することにもつながります。

GMTのメンバーは、国際協会の会員プログラムと方針を熟知していること、優れたメンターであること、会員の意欲を喚起すること、そして何よりもリーダーであることを期待されます。本ガイドの内容は、あなたがその役割を果たす上で役立つでしょう。

GMTとグローバル指導力育成チーム（GLT）のメンバーは緊密に連携し、国際、複合地区、地区レベルでの両者の協力関係は地域的・世界的に会員の参加と取り組みを促すための鍵となります。連携して活動するGMTとGLTのメンバーは、ライオンズの成功と力の模範となると同時に、各地のライオンズクラブの奉仕と取り組みを通して会員を増強し新クラブを結成する媒体となるでしょう。

どうぞ本ガイドをご精読ください。その内容またはあなたの役割に関してご質問やご意見がありましたら、[会員及び新クラブ開発課](#)までご連絡ください。

ライオンズクラブ国際協会
エクステンション及び会員部
会員及び新クラブ開発課



グローバル会員増強チームの概要と構造

背景

あらゆる奉仕組織にとって、全体的な成功のためには会員増強が不可欠です。優れた会員増強チームは、ライオンズクラブ国際協会が国際社会に質の高い有意義な奉仕を提供し、その使命を果たし続けていくために必要なビジョン、指針、意欲を与えてくれます。

2008年にGMTが設置されたことにより、従来の会員増強プログラムに欠けていた継続性と柔軟性が確保され、地域別の計画を伴う国際目標の設定、実証済みのインフラに基づく新たな構造、GMT・複合地区・地区・クラブ間のコミュニケーションの円滑化が実現しました。会員増強が達成されていることから、この手法は成功と目されています。

2009～2010年度には、従来のMERLプログラムに代わる新しいコンセプトが形成されました。つまり指導力育成(L)の機能を、既存クラブの会員増強(M)・新クラブの結成(E)・会員維持(R)の機能から分離する、というコンセプトです。この新たな構造の目的は、会員増強への各地域の取り組みとGMTの取り組みの一貫性を高められるようにすることで、成功の機会を最大化することにあります。

このコンセプトの重要な要素がGLTであり、GMTと並行して相互に支援しながら活動する専門チームとして想定されています。指導力育成は国際協会のあらゆるプログラムの成功と全体的な将来にとって不可欠であり、GLTはそのためのより重点的な取り組みと支援を提供します。

GMTとGLTのメンバーは、現在と将来のライオンズ指導者のために協力して機会を特定・開発・奨励し、奉仕を通じた会員増強に取り組んでいくことになります。

GMTの概要

GMTは複合地区および地区レベルの代表と地区ガバナー・チームを含めて構成され、ライオンズの奉仕への取り組みを支援するため、クラブレベルから上のレベルへと会員増強の包括的でグローバルな基盤を提供します。

GMTのメンバーは、過去のデータと地理的・文化的な特徴を考慮し、国際協会の資料と取り組みを活用することで以下を支援する態勢を整えています。

- 地区とクラブの奉仕機会の特定
- 会員増強目標の設定と達成
- 弱体クラブの特定とその支援

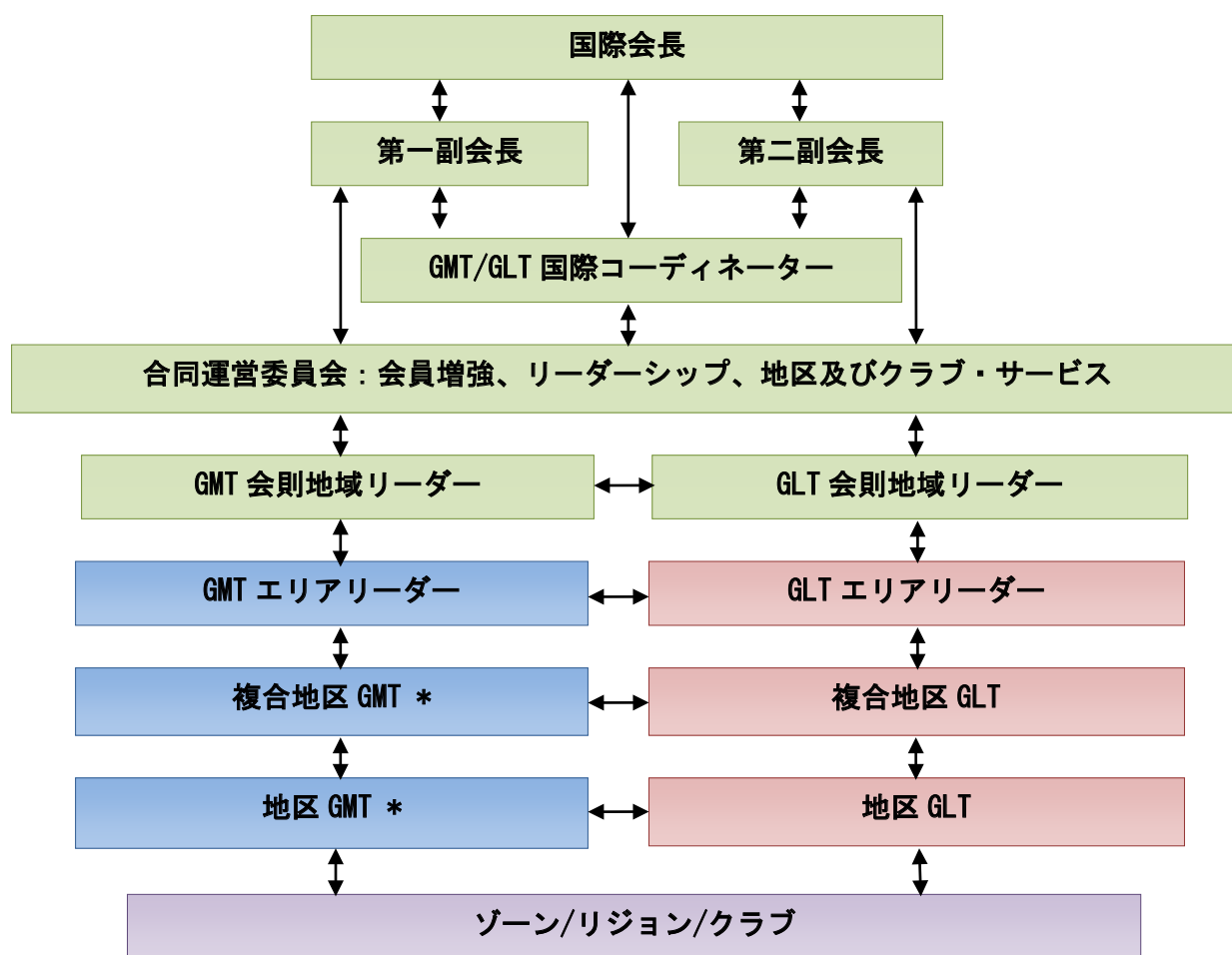
GMTはコミュニケーションと意欲喚起の媒体であると同時に、ビジョン、計画、継続を促す存在なのです。

GMT/GLT の構造：国際レベルから地区レベルまで

GMT と GLT は、会員増強と指導力育成の強化に向けて並行して機能します。二つの組織は執行協議会により国際レベルで結びつき、かつ調整されます。

GMT は特定の会則地域または地理的地域を担当します。GMT/GLT のメンバーは、地域のニーズを十分に分析した上でそれに基づくプログラムを開発・実施できるよう、3年の任期で任命されます。GMT/GLT リーダーは1年ごとに全員が評価を受け、実績に基づき再任または解任が決定されます。

GMT の構造は一般に GLT の構造と対をなしており、効果的な協力を可能にしています。地域によっては、一人の有資格のライオンが GLT と GMT の代表を兼務することもあります。



*地域の会員増強ニーズに基づき、複合地区 GMT と地区 GMT 双方のクラブサクセス委員会と会員増強・EXT 委員会にそれぞれ 3~4 人のスペシャリストが任命されます。

執行協議会

GMT/GLT 執行協議会は以下によって構成されます。

- 議長として国際会長
- GMT リエゾンとして第一国際副会長
- GLT リエゾンとして第二国際副会長
- 会員増強委員会、リーダーシップ委員会、地区及びクラブ・サービス委員会の委員長
- 任命された GMT 国際コーディネーター
- 任命された GLT 国際コーディネーター
- ライオンズクラブ国際協会事務総長

国際コーディネーター

GMT 国際コーディネーターは GMT/GLT 執行協議会の任命されたメンバーであり、第一副会長と GMT の世界的な組織との連絡窓口として機能します。また、執行役員に報告を行い、GMT 会則地域リーダーを支援し、地域のニーズを調査して優先順位を設定し、GMT エリアリーダーおよびアドバイザーを励まし、世界各地で行われる多様な会員増強会議や行事で GMT の代表を務めます。さらに、国際本部エクステンション及び会員部のスタッフと協力し、GMT の目標と目的の達成を促します。

会則地域リーダー

協調と協力によって最大の効果が得られるよう、GMT と GLT では同じ割り当て区域に同じ人数の会則地域リーダーが配置されます。GMT 会則地域リーダーの任命は、国際会長が第一および第二国際副会長と相談して行います。

エリアリーダー

GMT と GLT のエリアリーダーは、割り当てられた数の複合地区/地区/単一地区を支援します。同じ地域を担当する GLT と GMT それぞれのエリアリーダーは継続的に連絡を取り合い、地域のニーズと機会に効果的に対応します。GMT エリアリーダーの任命は、国際会長が第一・第二国際副会長および会則地域リーダーと相談して行います。

特別エリア・アドバイザー

一部の会則地域では、遠隔地や特殊な地域の会員増強/指導力育成の取り組みを支援する GMT/GLT 特別エリア・アドバイザーが任命されています。アドバイザーはエリアリーダーと協力し、具体的な動向やニーズを伝えるとともに、各地域に支援を提供します。

複合地区 GMT

複合地区 GMT は、複合地区 GMT コーディネーター、協議会議長、3~4 人のクラブサクセス委員会メンバー、および 3~4 人の会員増強・EXT 委員会メンバーで構成されます。複合地区 GMT は複合地区 GLT と協力して活動します。クラブサクセス委員会と会員増強・EXT 委員会については、「目標、目的、責任」のセクションで詳しく説明します。

複合地区 GMT コーディネーターその他のチームメンバーは、ガバナー協議会が GMT エリアリーダーおよび協議会議長と相談して 3 年任期で任命します。

地区/単一地区 GMT

地区 GMT は、地区 GMT コーディネーター、地区ガバナー・チーム、3～4 人のクラブサクセス委員会スペシャリスト、および 3～4 人の会員増強・EXT 委員会スペシャリストで構成されます。地区 GMT は地区 GLT と協力して活動します。クラブサクセス委員会と会員増強・EXT 委員会については、「目標、目的、責任」のセクションで詳しく説明します。

地区/単一地区 GMT コーディネーターその他のチームメンバーは、地区ガバナー・チームが GMT エリアリーダー、複合地区 GMT コーディネーター（該当する場合）と相談して 3 年任期で任命します。

リジョン、ゾーン、クラブ

GMT の会員増強・EXT 委員会とクラブサクセス委員会の双方には、3～4 人のスペシャリストの他に毎年地区ガバナーが任命するゾーン・チェアパーソン（該当する場合にはリジョン・チェアパーソン）も加わり、担当のクラブと直接協力していくことになります。



目標、目的、責任

GMT は会員増強、会員の参加、新クラブの結成を集中的に強化していくことを可能にします。結果的に、会員が増加し参加が高まるだけでなく、地域的・世界的な人道奉仕への取り組みが強化され、国際協会に利益がもたらされることになるでしょう。

GMT は複数レベルの指導者によって構成されていますが、以下の目標と目的は常に一貫しています。

- 会員のデータと動向、および地理的/文化的な特徴に関する知識と理解を維持する
- 新クラブ結成の候補地を特定する
- 会員増強目標および戦略計画の立案と実施に支援を提供する
- 弱体クラブを特定し、支援する
- 奉仕の機会を見極め、促進する
- 成功している会員増強戦略を認識し、共有する
- 会員増強に関する国際協会の資料と取り組みを認識し、推奨する
- コミュニケーション、ビジョン、計画、協力を強調する

GMT の各レベルの具体的な責任は以下の通りです。

GMT 国際コーディネーター

- GMT 会則地域リーダーを監督および支援し、意欲を喚起する
- 会員増強、満足度向上、クラブの成功の必要性に対する認識と理解を国際協会の全レベルで高め、すべての地区による新クラブの結成を奨励する
- 複合地区、地区、クラブによる会員増強目標の達成を支援するよう、GMT エリアリーダーに奨励する
- GMT リーダーおよびコーディネーターの報告に基づき、退会者、新クラブ結成、既存クラブへの新会員の招請に取り組むための戦略を策定する
- GMT リーダーおよびコーディネーターの報告に基づき、各会則地域における会員の現状と動向、会員増強のニーズと進捗状況について、GMT/GLT 執行協議会に助言を提供する
- 適性、経験、関心に基づきライオンズ指導者候補を発掘し、指導力向上を奨励する

GMT 会則地域リーダー

- GMT エリアリーダーを監督および支援し、意欲を喚起する
- エリアフォーラムの重点が確実に会員増強に置かれるようにする
- 会員増強と満足度向上の必要性に対する認識と理解を国際協会の全レベルで高める
- GMT エリアリーダーの報告に基づき、会則地域のニーズを評価する
- 会員増強のニーズと進捗状況について、執行協議会とエクステンション及び会員部に助言を提供する
- 同位の GLT メンバーと協力してニーズと機会を見極め、戦略を提案する
- 適性、経験、関心に基づき会員増強の指導者候補を発掘し、指導力向上を奨励する

GMT エリアリーダー/GMT 特別エリア・アドバイザー

- 複合地区または地区 GMT を監督および支援し、意欲を喚起する
- 複合地区 GMT の報告に基づき、エリアのニーズを評価する
- 複合地区および地区と協力し、会員増強と満足度向上に関する目標と計画を立案する
- 会員増強と満足度向上がエリア全域で確実に促進されるようにする
- 会員増強のニーズと進捗状況について、会則地域リーダー（特別エリア・アドバイザーの場合にはエリアリーダー）とエクステンション及び会員部に助言を提供する
- 同位の GLT メンバーと協力してニーズと機会を見極め、戦略を提案する
- 適性、経験、関心に基づき会員増強の指導者候補を発掘し、指導力向上を奨励する
- 会員関係の各種報告書を監視し、地区と情報を交換して問題の解決を支援または成果を表彰する
- 複合地区および地区の報告について意見を提供する
- GMT 会則地域リーダーおよび国際協会本部に四半期会員増強報告書を提出する

言語、地理、その他特有の事情によって必要とされる場合には、GMT 特別エリア・アドバイザーが任命され、GMT の責任を遂行することになります。GMT エリアリーダーと GMT 特別エリア・アドバイザーは常に率直に情報を交換し、アドバイザーはエリアの最新情報を継続的に GMT エリアリーダーに提供します。

複合地区 GMT

- 地区 GMT を支援し、意欲を喚起する
- 複合地区 GMT およびエリアリーダーと協力して以下に取り組む：
 - 複合地区の会員増強ニーズ
 - 複合地区の会員増強目標および行動計画
 - 会員を増強し奉仕活動を拡大するための[会員増強・EXT 委員会およびクラブサクセス委員会](#)の任命
- [会員増強](#)と[満足度向上](#)が複合地区全域で確実に促進されるようにする
- 地域を特定し、各地区に[毎年最低 1 つの新クラブを結成する](#)よう奨励する（[該当地域では新クラブの結成を支援できる新クラブ結成コンサルタントの活用を奨励する](#)）
- [クラブ向上プロセス（CEP）](#)を奨励する
- 国際協会の[会員増強ツールおよび資料](#)を推奨する
- 適性、経験、関心に基づき[会員増強の指導者](#)候補を発掘し、指導力向上を奨励する
- 会員関係の各種報告書を監視し、地区と情報を交換して問題の解決を支援または成果を表彰する
- [国際協会が提供する会員統計](#)およびまたは地区が公表する会員関係の各種報告書を役立てて、会員のデータと動向を分析する
- 国際協会に四半期会員増強報告書を提出する
- 会員増強計画の資金を確保するため、ガバナー協議会に[予算案を提出する](#)

地区 GMT

- リジョン、ゾーン、クラブの指導者を支援し、意欲を喚起する
- 地区および複合地区 GMT と協力して以下に取り組む：
 - 地区の会員増強ニーズ
 - 地区の会員増強目標および行動計画
 - 会員を増強し奉仕活動を拡大するための[会員増強・EXT 委員会およびクラブサクセス委員会](#)の任命
- [会員増強](#)と[満足度向上](#)が地区全域で確実に促進されるようにする
- 地域を特定し、[毎年最低 1 つの新クラブを結成する](#)ための計画を立てる。新クラブ結成コンサルタントに支援を要請する（[該当地域で](#)）
- 新クラブを支援する研修、すなわち[公認ガイディング・ライオンおよびクラブ役員研修](#)に関して同位の GLT メンバーと協力する
- [クラブ向上プロセス（CEP）](#)を奨励し、参加するクラブを特定する。同位の GLT メンバーと協力し、参加クラブによる目標の達成を支援する
- 国際協会の[会員増強ツールおよび資料](#)をリジョン、ゾーン、クラブの指導者に推奨する
- 適性、経験、関心に基づき[会員増強の指導者](#)候補を発掘し、指導力向上を奨励する
- [会員関係の各種報告書を監視し](#)、動向を見極めて戦略を立案する。リジョン、ゾーン、クラブの指導者と情報を交換して問題の解決を支援または成果を表彰する
- 毎月または四半期ごとに会員増強の成果を予想・目標と比較し、必要に応じて戦略を調整する
- 国際協会に四半期会員増強報告書を提出する
- 会員増強計画の資金を確保するため、地区キャビネットに[予算案を提出する](#)
- 会員増強スキルの強化・向上に向けてライオンズの意欲を喚起する
- 会員増強に大きく貢献した地区と会員を対象とする[表彰計画](#)を立案して推進する

GMT 会員増強・EXT 委員会とクラブサクセス委員会

複合地区および地区 GMT コーディネーターは、それぞれ 3～4 人の会員で構成される[会員増強・EXT 委員会およびクラブサクセス委員会](#)を編成します。

この二つの委員会は 3 年の任期で任命されます。複合地区委員会の任命は、ガバナー協議会が複合地区 GMT コーディネーターおよび GMT エリアリーダーと相談して行います。地区委員会の任命は、地区ガバナー・チームが複合地区 GMT コーディネーターおよび地区 GMT コーディネーターと相談して行います。サクセス委員会のスペシャリストは複合地区および地区により、**My LCI** を通して登録されます。

会員増強・EXT 委員会

責任：

- [新クラブ結成](#)の機会を見極める
- [新会員の勧誘](#)を奨励する
- [クラブ向上プロセス \(CEP\)](#) の対象となるクラブを特定する

会員増強・EXT 委員会のスペシャリストの例：

- [キャンパスクラブ・スペシャリスト](#)
- [CEP 推進スペシャリスト](#)
- [新クラブ結成スペシャリスト](#)
- [家族及び女性会員スペシャリスト](#)
- [スペシャル・インタレスト・クラブ・スペシャリスト](#)
- [若手会員スペシャリスト](#)

クラブサクセス委員会

責任：

- 会員を[地域社会奉仕事業に参加させ、新たな奉仕の機会を見極める](#)ことに集中的に取り組む
- [アクティビティ報告](#)を奨励する
- [会員の満足度向上](#)を奨励する
- [クラブ向上プロセス \(CEP\)](#) に参加したクラブを支援する
- クラブの健康を高めて会員を維持および参加させ、弱体化したクラブの再建を支援する

クラブサクセス委員会のスペシャリストの例：

- [CEP フォローアップ・スペシャリスト](#)
- 地域奉仕スペシャリスト
- 会員サービス・スペシャリスト
- メンタリング・スペシャリスト
- 出版物スペシャリスト
- 再建スペシャリスト
- アクティビティ報告スペシャリスト
- 技術スペシャリスト

リジョンおよびゾーン・チェアパーソン – 地区 GMT

- [会員増強資料をクラブに推奨](#)する
- [クラブ向上プロセス \(CEP\)](#) を奨励し、参加するクラブを特定する
- [クラブ会員委員長](#)にその役割と責任を確実に認識させる
- [新クラブ結成](#)の対象となる地域社会を特定する
- [新規または既存の奉仕事業](#)への会員の参加に重点を置く
- [会員増強計画](#)を実行し、地域社会での活動を宣伝するようクラブに奨励する
- 会員増強ニーズと[成功している戦略](#)について仲間の地区 GMT メンバーに伝達する



協力：GMT と GLT

ライオンズクラブ国際協会が高まり続ける地域社会のニーズに対応するには、会員を増強することが重要です。有能な指導者は、会員が質の高い有意義な奉仕を行えるよう、不可欠な情報や指導を提供して意欲を喚起します。

会員増強と指導力育成は、必要とされる地域社会奉仕を提供し、ライオンズとして「われわれは奉仕する」という使命を果たしていく能力を維持する上で極めて重要です。グローバル会員増強チームとグローバル指導力育成チームが設置されたのはそのためです。

両チームは、以下の4つの基本的な目標を共有しています。

- 継続的な会員増強
- 新クラブの結成
- クラブのさらなる向上
- リーダーシップの質の向上

GMT と GLT は並行して存在する二つの独立したチームでありながら、それぞれの効果は協力して取り組むことによるのみ最大化されます。

個々の才能は協力することでより効果的に発揮されます。会員の増強とリーダーシップの質の向上に必要な知識、スキル、経験をすべて持ち合わせたライオンは誰一人として存在しません。力を合わせることで、GMT と GLT がそれぞれに有する特別な知識とスキルが活かされ、双方の効果を最大限に高めることができるのです。

例：GMT がクラブや会員の課題と利用できる支援プログラムについての知識を活かして、会員の満足感を高めたいと考えているクラブをいくつか特定する。GMT は彼らにクラブ向上プロセス（CEP）に参加するよう奨励し、クラブが CEP に関心を持っていることを GLT に伝える。GLT は研修や参加型の進行に関する専門知識を役立てて CEP プロのワークショップを計画し、それが効果的に実施されるように計らう。

協力は刺激と独創性の源です。常に率直に情報を交換し、課題、機会、アイデアを分かち合うことで、一人では発見できない新たな知見や視点が生まれることもあります。GMT と GLT は互いに助け合って最も効果的な計画を立てることにより、問題を解決し課題に取り組むことができます。

例：GMT が直ちに新たなライオンズクラブを結成できそうな地域を特定する。GMT コーディネーターは、その地域のガイディング・ライオンの経験が比較的浅いことから、新クラブが結成されてからの支援や指導に不安を感じている。そこで GLT コーディネーターに相談すると、GLT が近隣の地区で公認ガイディング・ライオン研修を行ったばかりで、その講師の一人が非常に有能な公認ガイディング・ライオンであったことが分かる。GMT コーディネーターと GLT コーディネーターはともに、講師を務めたこの公認ガイディング・ライオンと経験の浅いガイディング・ライオンの間にメンタリング関係を結ばせようと決める。

協力は目標達成の時期を早めるために役立ちます。GMT と GLT は具体的な目的を伝え合うことにより、それぞれの責務に集中しながら他方の努力を補うことができます。結果的に、予定よりも短時間で目標を達成することができるでしょう。

例：GLT の目的の一つは新たな指導者候補の発掘である。GMT がゾーン・チェアパーソンと連絡を取り合う中で、あるゾーン・チェアパーソンの熱意と能力に感心する。このゾーン・チェアパーソンに地域で行われる研修行事に参加するよう勧めるが、時間的なゆとりがないからという理由で応じてもらえない。GMT がこのことを GLT に伝えると、GLT はこのゾーン・チェアパーソンに連絡してさまざまな選択肢について話し合い、適切なオンライン研修や指導力向上の機会を提案する。

GMT には、新会員の確保、新クラブの結成、クラブの成功を促すことによる会員維持率の向上を通して、会員を増強する責任があります。GLT は、新たなライオンズ指導者候補を発掘してその指導力向上を奨励するとともに、適切な研修・育成プログラムの提供によってリーダーシップの質を高め、成果と国際協会の成功を最大化することを目指します。連携して活動する両チームが効果的に協力すれば、全体的な効果は部分の総和を上回るようになるはずです。

会長の任務について

研 修 会 資 料

2013～2014

ライオンズクラブ国際協会 336-D 地区

地区ガバナー 坂根 勝

2014年4月7日

330-A 地区

東京レスキューLCメンバー 各位
関係者 各位

9R 2Z 東京レスキューライオンズクラブ
前会長 L 高橋 長生

クラブ支部結成について

CN2周年記念例会と支部結成 費用明細

日 時 : 2014年6月15日(日) 14時00より
場 所 : 主婦会館 プラザエフ 東京都千代田区六番町15番地
参加人員 : 130名
会 費 : 5,000円

<メモ>

1、東京レスキューLCの現実と支部制度の必要性

ライオンズクラブ国際協会ではクラブが活性化する要因の一つとして「クラブ支部制度」を奨励しております。その理由として、新しいクラブ結成には20名以上の会員を必要とし、チャーターナイトまでに25名の会員を要します、しかしクラブ支部であれば最低5名の支部メンバーから結成することができます。そしていずれこの支部が、新しいクラブ結成の足掛かりになることを期待しているからです。

又、国際協会では所属クラブの地域を「クラブの所属する市区町村又はその一部の行政区分をクラブの奉仕地域として特定する」とされており、では東京レスキューLCはその「奉仕地域の特定がなされているか」と問われた場合東京全域とその周辺地域となります。

しかしこのクラブの特徴は「スペシャル・インタレスト LC」として国際協会から認証されております、いわゆる災害支援・救助復興支援を主な活動とする専門クラブです。

災害時の特性として他の地域への支援体制と、自分の地域の受援体制とに分けられます。他の地域への支援の場合、現在の組織そのまま十分役割は果たせます、しかし自分たちの地域が災害を被つ

た場合、その受援体制は現在の東京レスキューLCのようなメンバー構成（広域にメンバーが存在するクラブ）ではメンバーが結集し十分な活動を行うことが不可能となります。

仮に東京直下型地震が発生し東京中心部が非常事態に陥った場合、必ず起こりうる交通手段の不通・道路渋滞通行止め、連絡網の寸断のため長距離移動が不可能と考えられます（3.11で経験済み）

そして災害地では、自地域の支援救援活動が精一杯で他の地域への支援活動は皆無の状態に陥ることは明らかです、そのような理由から広域のメンバー構成では一同に集合した支援活動は不可能状態になります。

そこで330-A地区を大きく7支部に分割した東京レスキューLCは、メンバーの構成特性の中から、国際協会が奨励する「クラブ支部制度」を導入し支部毎の活動を率先して行う必要があると思います。

2、 支部結成及び組織運営の概要

(1) 「親クラブの地域内であればどこでも支部を作れますが、現在ライオンズクラブの存在しない地域が好ましい」とされておりませんが、330-A地区ではクラブの存在しない地域を探すことは難しい（解散したクラブ地域はまれにある）。既存クラブが存在する地域にクラブ支部を作る場合、親クラブがそれらの既存のクラブに対し文書による承諾を得る必要があります。

(2) 親クラブの運営は支部結成後メンバー15名～20名（支部会長・支部幹事・支部会計は元々のクラブのメンバー）で運営し支部構成員13名を加え28名の組織となり、実質的組織運営は親クラブと4支部から構成されます。（家族会員含む）

(3) 支部連絡員（headquarters）は東京レスキューLC会長が務める。

支部例会は少なくとも毎月1回開催し、その経過を親クラブの定例会にて報告する。（親クラブ例会と支部例会を合同して開催することもできる）

(4) 支部運営は支部会長の運営のもと独自で運営する。但し本部・各支部が合同で行う事業は率先して参加する。

(5) その他は「クラブ支部ガイド・支部建設キット」に添う。

3、 支部構成メンバーの主な居住地域とサポートメンバーの追加計画（案）

(1) 東京レスキューLC（親クラブ）

会長 野村起成・幹事 野村政弘・会計 平田昌治・TT 福永浩一・LT 浦中竜太郎・高橋長生
富樫 誠・高橋孝子・杉本英美・加瀬好市・小島靖久・小島朋子・野村由美・高橋杏菜
佐藤葉月・山縣 真・山本 孝・富樫貴光・高橋 準（親クラブと支部メンバーは重複する）

(2) 東京レスキューLC イースタン（Eastern）支部

支部会長 野村起成・平田昌治・野村美穂・福永浩一・加瀬好市・吉崎 修・その他サポート

(3) 東京レスキューLC サウザン（Southern）支部

支部会長 野村政弘・野村由美・山本 孝・小島靖久・小島朋子・横田政秀・山田利光・山縣 真・
その他サポート

(4) 東京レスキューLC ウェスタン（Western）支部

支部会長 富樫 誠・高橋 準・富樫貴光・高橋孝子・高橋杏菜・佐藤葉月・高橋長生
長沢拓也・向山ひろみ・蜂屋量夫・杉本英美・坂田 熒 その他サポート

(5) 埼玉レスキューLC 桶川支部

クラブ支部結成の規定から、支部は親クラブの所属地区内（330-A 地区）に結成するとされている、次のメンバーは主に埼玉県桶川市・大宮市を中心に活動拠点とすることを計画しています。そのため 330-C 地区の所属クラブの中から親クラブを探し「埼玉レスキューLC 桶川支部」として支部を結成する予定。

支部会長 浦中竜太郎・浦中由香・井島文年・大松 繁・松永昇士・深井雄駒・浦口 純

その他サポート

4. 支部の必要性と役割分担

当クラブはボランティア活動地域として練馬区「東京都石神井学園」、国立市「東京都多摩障害者スポーツセンター」宮城県「気仙沼市五右衛門ヶ原仮設住宅」等があり、新たな活動地域として元東京芝浦LCの活動地域であった港区「芝浦地区」などがあります。

現在、石神井学園から「大規模災害時における支援協力に関する協定書」（案）が作成され締結を希望しております。又東京都多摩障害者スポーツセンターには障害者をサポートする多くのボランティアが存在します。

ライオンズクラブが、地域から信頼を受け期待される団体となるためには、「地域の底辺」となり「地域密着型」になる必要があります、そのためにはこのような団体を始め、地域の商店街、消防署、消防団、大学等と共に活動できる防災体制づくりが必要です。

もともと東京レスキューLC結成の趣旨の一つに、「大規模災害発生時、自分達の地域は自分達で守り、自分達で助け合う」そんな考え方から組織作りを始めクラブが結成されました。

そして概ね東京を7地域に分割しメンバー構成がされています。（八王子地区・町田地区は次年度）ライオンズクラブには国際協会が奨励する「クラブ支部制度」があり現在の東京レスキューLCのメンバー構成とメンバーの居住地から考えた場合、クラブ組織の一環として支部を結成することにより、クラブ運営の目的が一層達成しやすくなるのです。（クラブ支部ガイド参照）

前項2、(1)～(5)の支部を結成し各支部の支部長・支部幹事は親クラブの主メンバーとなりクラブの本部を運営する。そしてクラブ支部運営は「クラブ支部ガイド」に副って運営する。

以上

会長の任務について

2011～2012

ライオンズクラブ国際協会

336-D 地区 地区名誉顧問会議長

岡村 聖爾

〈クラブ会長〉

- クラブ及び理事会の全ての会合を主宰する。
- その年度のクラブの成功そして発展は、その年度の会長の職責遂行の熱意によりクラブが輝く……。
- クラブ理事会の定例および臨時会合を招集する。
- クラブの常設委員会及び特別委員会を任命し、委員会が適切に活動し、報告が適切になされるように協力する。
(報告について)
委員会の報告は、文書で報告し、会長に伝達する。
- 役員 の 指名会等を経て、選挙会が適切に公示、通達し開催されるよう留意する。
- クラブが所属する、ゾーンにおいて、地区ガバナー諮問委員会の正規委員となる。

〈会長として心得るべき事項〉

- クラブの運営は、国際会則および付則、複合地区会則、クラブ会則に基づいて行われるよう留意する。
クラブは国際会則に違反しないかぎり、クラブ独自の会則及び付則を採択することができる。ただし、このような独自の会則を持たないクラブは、「ライオンズクラブ会則および付則標準版」(以下「クラブ会則」という)に基づいて運営される。
会長の職責は「クラブ役員必携」に記されているが、その職責を全うするためには、過去の経験に照らして次のような事項を実行することが望ましい。
 - ♥ 正式に就任する前に準備クラブ理事会および各委員長会議を開くこと。
 - ♥ 毎月定例理事会を開くこと。
 - ♥ クラブ理事会に先立って議題を準備すること。
 - ♥ クラブ理事会の前に幹事と打ち合わせを入念にすること。
 - ♥ 例会に先立って計画委員と打ち合わせを行うこと。
 - ♥ 例会に先立ちって例会のスケジュールを組んでテーマを伝達すること。

- ♥ クラブで決定したアクティビティの予算については、財務委員会にその案を作成させ、クラブ理事会に提出の上、例会の承認を得る。
- ♥ 運営・事業の両面の各委員会は、クラブ理事会に対して毎月報告をしなければならない。
- ♥ クラブの設定した努力目標は随時顧み、達成ができるように努力をする。
- ♥ 会合は全て時間厳守すること。
時間延長は出来るだけさけて、会議等の目的によって事前に検討して、会議等を招集すること。
- ♥ 全ての会合はロバート議事規則による。
- ♥ 任期終了時に、幹事および会計の記録及び計算書に基づいて決算の監査を受ける。
- ♥ 例会、行事等プロトコールを厳守すること。(複合マニュアルを活用)

クラブの設定する年間努力目標（一例）

1. <会員増強>

会員の維持、増加は、大事なことである。しかし、単に新会員を得るというのではなく、例会に出席し、事業に参加し、よく働く立派な会員を得なければならない。

2. <出席率の最低線 85%維持>

100%出席を目標として出来るだけ努力すべきであるが、平均出席率 85%を下回ってはならない。

3. <各大会への代議員派遣>

地区、複合地区および国際大会への所定数の代議員を派遣することが出来るよう、年度当初に計画を立て、代議員の派遣費を支出できるよう考えなければならない。

4. <健全財政の確立>

運営予算が決したならばそれは厳守させなければならない。納入金はもれなく徴収し、クラブの支出すべき費用は速やかに支払うよう留意する。

5. <ライオニズムの徹底>

会員にライオニズムを熟知させることはもっとも緊要な問題である。そこで、まず新入会員に感銘深い入会式を行って、正しい第一歩を踏み出させ、さらに組織化された指導を行うことが必要である。新会員は古い会員と交わり、ライオニズムの歴史、原理、組織、計画などについて説明を与えるべきである。

会合のたびにごとにライオニズムに関する談話をすることは、新しい会員に指針を与えるとともに、古い会員はこの組織の偉大なる精神と目的とを再考させるのに役立つのである。

新しい会員が成長して委員会の目覚ましい働き手となったとき、初めて会員強化の仕事は完了する。

活動的な会員が脱落者となることはほとんどありえない。会員を強化することは、またクラブの責任でもある。

6. <地域奉仕に関する幅広い計画>

立派な奉仕団体は多いが、ライオンズの特徴とするところは、全世界にわたってクラブがそれぞれの地域社会でアクティビティを行っているということである。健全財政や高い出席率もすばらしいものであるが、我々が住む社会の不幸な人々や社会に対してなんらアクティビティを行わないとしたらライオンズが長い年月をかけて築き上げた、世界最大の奉仕団体として地位を保

持することは難しい。我々はまず、全会員の関心と支持を得るようなアクティビティ計画を樹立しなければならない。そうすれば全会員が興味を持ってそれぞれ重要な仕事を受けもつことになり、ひいては地域社会の共感と支持を獲得できることになる。また、このような計画はその地域社会の立派な人たちの関心を引いて、ライオンズクラブに入会させることになる。古い会員を強化して関心の薄れていくのを防ぐことになる。

7. <例会の魅力>

クラブ例会において、魅力ある、かつ変化に富んだ諸企画を実施するよう努力すべきである。

会員の関心を維持し、新会員を獲得し、古い会員の脱落を防ぎ、高い出席率を得、クラブ向上を図るためには、これは欠くことのできない要件である。ここで考慮すべき大切なことは、明朗で有能なテール・ツイスター、よいソング・リーダーやピアニストをクラブが持つことである。

8. <効果的なPR計画>

クラブの行うアクティビティの成否は、クラブが一般市民にどのように伝えられ、受け取られているかにかかるといえることが多い。ゆえに新聞、ラジオ、テレビなどの紹介を通して、常に正しくかつ有効なPRを随時企画し、それぞれを効果的に実施していくことがきわめて重要である。

9. <クラブの権威>

会員はクラブに対して、それぞれライオンである誇りとして、ライオンである慶びを覚えるように努力しなければならない。

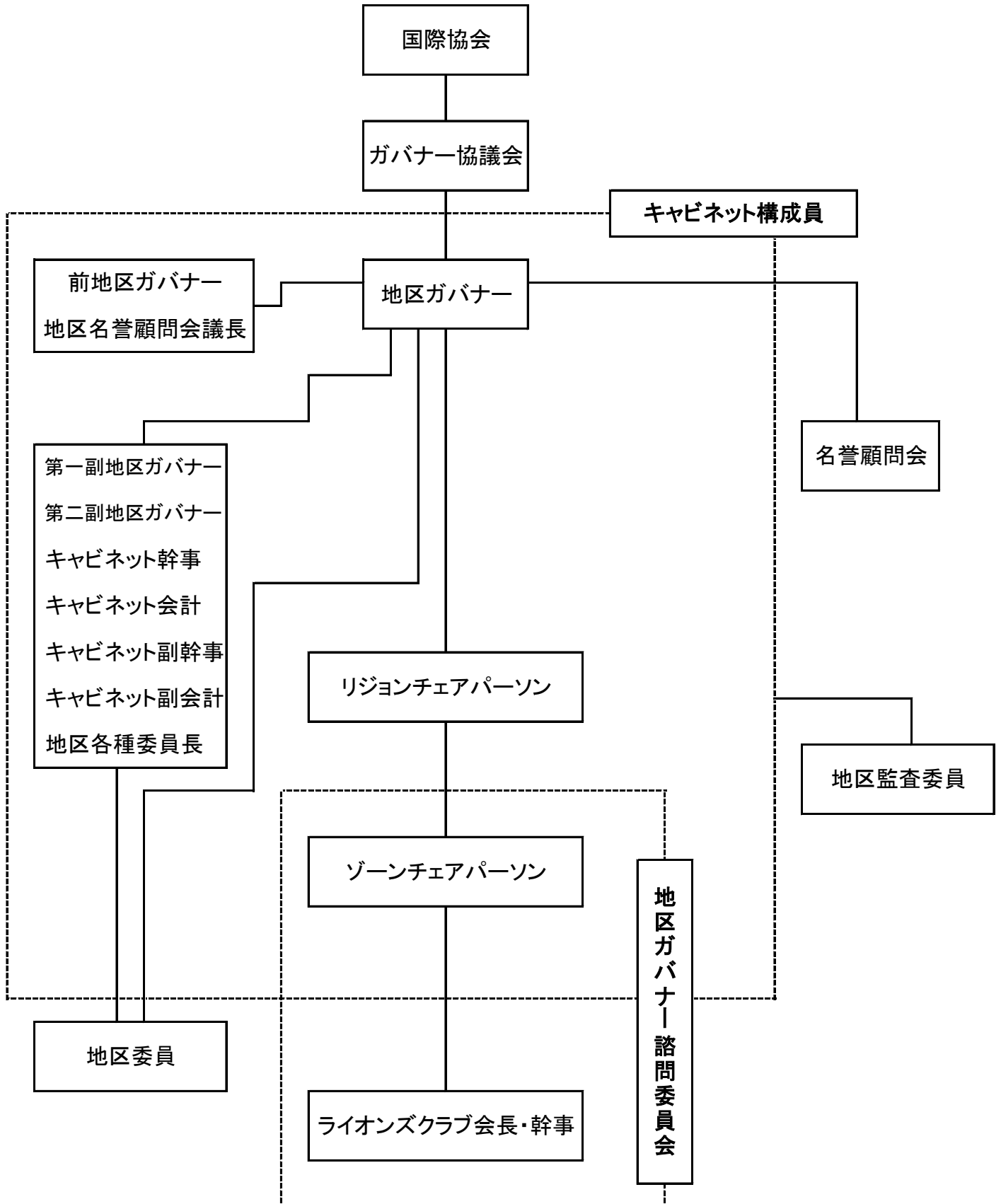
10. <親睦・会員総合・友愛>

親睦会はたびたび開催されるよう計画する。そうすれば会員同士、家族は一層親密になり、会員なった喜びをさらに多くうけることになる。

クラブ理事会について

1. 理事会は会長、前会長、副会長（複数）、幹事、会計、ライオン・テーマ（設置任意）、テール・ツイスター、会員理事支部コーディネーター（任命した場合）および全ての選出された理事によって構成される。
2. 定例会合は理事会の決定する日時及び場所で開かれる。（理事会は少なくとも月1回は会議を開くよう推奨されている）
3. 理事会の臨時会合は、会長または3名以上の理事会構成員の要求があったときに、会長が決定する日時および場所で開かれる。
4. 理事会のいかなる会合においても、構成員の過半数の出席を持って定数とする。他に特に規定する場合を除き、理事会の会合に出席した構成員の過半数による決定をもって理事会全体の決議とする。
5. 理事会の任務及び権限
 - 1). 理事会はクラブの執行機関であってクラブによって承認された施策を各委員を通じて実施する責任を持つ。全てのクラブの新企画および新施策はまず理事会で検討のうえ、クラブ例会または、特別会合に提案され、承認を受けなければならない。
 - 2). 全ての支出は理事会の承認を必要とする。理事会はクラブの現在の収入を超過する債務を負ってはならない、また、クラブの承認した企画および施策に反する目的のためにクラブの資金を支出することを承認してはならない。
 - 3). 年1回、または必要と認めるときは、さらに頻繁にクラブ会計および活動について監査を受ける、グッドスタンディングの会員は適切な日時および場所において、上記監査または会計報告について調査することができる。
 - 4). 財務委員会の推薦を受けて、クラブ資金を預金する銀行を指定する。

ライオンズクラブ組織



次期（2014年7月～2015年6月）会員増強計画

ライオンズクラブ国際協会 336-D 地区

DGE 竹下雅雄

年	月	新入 会員	家族 会員	計	行動計画
2014	7	10人	0人	10人	国際大会帰国後各 LC に書類で要請
	8	5人	5人	10人	1R～3R 各 Z 公式訪問にて要請
	9	10人	5人	15人	4R～7R 各 Z 公式訪問にて要請
	10	10人	20人	30人	G チーム（GMT・GLT 会議）
	11	10人	20人	30人	
	12	10人	10人	20人	
2015	1	5人	10人	15人	各 LC 書簡にて再要請
	2	10人	20人	30人	G チーム（GMT・GLT 会議）
	3	10人	20人	30人	
	4	10人	20人	30人	目標達成 LC 年次大会にて表彰
	5	10人	20人	30人	最終要請
	6	0人	0人	0人	退会者防止 最終確認
合計		100人	150人	250人	

【重点目標】

期首（7月）に地区内全 LC に会員増強目標及び行動計画の提出をお願いする。
各 LC より毎月の増員数の実績報告を求める。

336-D 地区では各ライオンズクラブとも家族会員の増強には否定的で有るので
公式訪問時に充分説明し話し合い、理解を求め、協力をお願いする。

増強の具体的な方法を考え、実践して貰う。

疑問点やトラブルの情報には現地（各 LC）へ足を運び話し合い解決する。

6月には毎年100人以上の退会者が出るので、退会防止に全力を注ぐ。

何があっても目標を達成したいと思っております。

会員増強計画最新版 2014年3月31日作成

次期クラブ三役研修会 幹事・会計分科会席次

2014年6月14日(土) 14:40～15:40

於:島根県立大学浜田キャンパス
中講義室4号室

次期キャビネット会計

三好 一敏

司 会

キャビネット会計

野口

泰男

キャビネット幹事

大野

美雄

地区常任名誉顧問

組嶽

晶一

次期第一副地区ガバナ

矢野

敏明

次期キャビネット副幹事

阿合

孝徳

次期キャビネット副幹事

廣畑

雅弘

次期キャビネット副幹事

森田

哲弘

演 台

自由席

幹事の任務について

研 修 会 資 料

2013～2014

ライオンズクラブ国際協会 336-D地区

キャビネット幹事 大野美雄

幹事分科会研修会

2013～2014 336-D 地区キャビネット幹事 大野美雄

この1年間キャビネット幹事を経験して、クラブ幹事様に知っておいていただきたいことを、思いつくままに列記しました。次期キャビネットとの意思疎通の一助なれば幸いです。

創設者 メルビン・ジョーンズ 1917年(大正6年)6月 シカゴで第1回の会合
1917年(大正6年)10月 ダラスで創立大会

1952年(昭和27年)東京 LC 誕生 スポンサー フィリピン マニラ LC

ライオンズクラブ国際協会 本部 アメリカ イリノイ州 シカゴ市

208の国・地域 約46,000LC 1,300,000人 @28人 男1,000,000人 女300,000人

日本 約3,200LC 105,000人 @人32.8 男90,000人 女15,000人

全世界が7のブロックに分けられている 日本は「東洋・東南アジア」に所属

330～337の8複合 35準地区

336-A～D A四国4県 B岡山・鳥取 C広島 D山口・島根

336-D 7R19Z(実質17Z) 96LC @33.5人

島根 3R7Z 43LC 1,620人(家族会員104人を含む)2014.4末

山口 4R10Z 53LC 1,601人(家族会員20人を含む)2014.4末

期首3,066人 4月末3,221人 入会341人 退会186人

期首より155人増(内家族会員124人)

2007～2008(村上G) 期首 109クラブ

2008～2009(倉益G) 期首 106クラブ

2009～2010(組嶽G) 期首 103クラブ 3,315人

2010～2011(光貞G) 期首 102クラブ 3,258人

2011～2012(大羽G) 期首 102クラブ 3,254人

2012～2013(岡村G) 期首 99クラブ 3,131人

2013～2014(坂根G) 期首 96クラブ 3,066人

336-D 最多 1994(平成6年)～95緒方G 約5,800人

日本最多 1992(平成4年)～93 168,038人

年次大会に代議員の派遣会員10名(1年と1日以上在籍)当たり1人の代議員 四捨五入
参加者は議事規則をよく知ってもらいたい 今回代議員登録ナシ 2LC

国際大会に代議員の派遣会員25名当たり1人の代議員

クラブは国際協会、複合地区および地区年次大会に代議員を派遣するために、必要な経費を支払う権限および能力を持たなければならない(「クラブ会則」第9条1・2項)

第97回国際大会 カナダ トロント 2014.7.4～8 第98回ハワイ 第99回福岡
第100回シカゴ 坂根 G336-D100 周年実行委員長

第53回東洋・東南アジアフォーラム 2014.11.13～16 韓国仁川

第51回福岡 第52回シンガポール 第54回タイ

第61回複合地区年次大会 高松市 第61回地区年次大会 萩

プロトコールの確認(運営マニュアルP70)

呼称の確認 L呼称の廃止について Lに代わる呼称の一例 氏名の後に役職を付ける(運営マニュアルP42)

サバンナ

マンスリーレポートの提出 未提出クラブ 22LC(2013.3～2014.2)

クラブ3役 会員委員長にはID(会員番号) パスワード(クラブ独自設定)で登録

地区役員にはID(会員番号) パスワード(入会月日下4桁)で登録

会員動静 月末締切ロックされる その他 翌月5日締切ロックされる

サバンナ → MR 集計表 マンスリーレポート集計とアクティビティ集計の金銭アクティビティの相違について、アクティビティ集計にはLCIF及びMJFを含むので、マンスリーレポート集計よりその分増えている。

ステータス・クオ(活動停止) 一人当たり20ドルまたは1クラブ当たり1,000ドルの滞納金が120日以上の場合 他にも活動停止理由はあるが、現実的には前述である 太平洋アジア課よりキャビネットに連絡あり

LCIF 国際財団(1968 昭和43年設立) LCの奉仕活動を交付金として支援 大いに利用すべきである グーグル ライオンズクラブLCIFで検索

一人当たり20ドル MJF1回1,000ドル(2013.7.1～2014.4.30 70人)

5月レート1ドル102円

336-D 12,409,594円 未献金 島根8LC 山口2LC(2013.7.1～2014.4.30 含MJF)

ライオンズクエスト 25,000ドル 光貞Gが交付を受けた 2011.1～2012.12までの事業

期間ではあったが、2013.12 まで延長が認められた

緊急援助交付金 10,000 ドル 地震・台風・洪水等の自然災害 100 人以上が避難せざるを得ない規模 激甚災害に指定 光貞 G の時に防府の水害に申請、大羽 G 岡村 G ナシ 坂根 G 2013.7 萩・津和野 2013.8 浜田・江津の災害に申請
終わって報告書の提出

10.8 ライオンズ奉仕デーに合わせて 1 クラブ 100 ドルの献金をしていただきたい

キャビネット HP の活用 今期の場合 会員限定ページ ユーザー名 パスワード 各クラブにお知らせ

ジャンボリー継続問題

青少年健全育成基金への寄附継続問題

キャビネット事務局員に優しく 何でも知っているわけではない 全くの素人の事務局員

会計の任務について

研 修 会 資 料

2013～2014

ライオンズクラブ国際協会 336-D地区

キャビネット会計 野口泰男

会計分科研修会

2012～2013

ライオンズクラブ国際協会

336-D 地区 キャビネット会計

野口 泰男

1. 会計の任務

クラブ財務の執行者は理事会であるが、会費の徴収は幹事、現金・預金の保管は会計、予算案の作成は財務委員会である。

- a. 幹事、テールツイスター、その他から全ての現金を受け取り、理事会によって承認された銀行に預金する。

*奉仕事業の一環としてチャリティーバザーなどを行って得た収益金は、たとえ目的や支出先が決まっても、一度事業費収入として受け入れ、改めて理事会の承認を経て支出する。

- b. すべての支出は理事会の承認を必要とする。理事会は本クラブの現在の収入を超過する債務を負ってはならない。

*クラブ会計事務は、収支の実績が常に予算との関連のもとに有効適切に統制されるよう複式簿記に基づいて、整然かつ明確に記録、計算されなければならない。

*先に支払ってから、理事会の承認を得ることは避けるべきである。

- c. 理事会が支払いを認めた請求は、これを直ちに支払う。

- d. 国際会費、複合地区費、地区費など納入金は期限内に支払う。

*国際協会に対して 50 ドル以上の未納金があるとクラブ会長優秀賞に影響します。又、90 日以上の滞納金のあるクラブにはグッド・スタンディングなクラブではないということで、国際会則上の保有すべき権利が停止される。

- e. クラブの収入と支出の全般的な記録を保管する。

*会計事務は複式簿記に基づいて明確に記録されなければならない。

*収入、支出ともに原則として銀行口座を通じて行い、収納金の中から直接支払に充ててはならない。

*伝票及び領収書には支払い発生の原因と支払先を明記しなければならない。

- f. 会計は毎月および半期ごとに会計報告書を作成し、クラブ理事会で会計報告を行わなければならない。

*国際協会および地区関係には、12 月と 6 月の月例会員報告書の最下欄の空白場所に「財政状況良好」の旨ひと言を報告すればよい。

- g. クラブ幹事から文書によりクラブの納入金を請求し、請求書を受領後 60 日以内に支払わない会員に対しては、幹事に通知し理事会に掛ける。確認、督促はクラブ幹事である。

- h. 任期終了時に諸記録及び計算書に基づいて決算の監査を受ける。
- 2. クラブ会計の仕訳について
 - a. クラブ会計は運営費会計、事業費会計、会食費会計の一般会計と特別会計に仕訳する。尚、一般会計間では相互に流用することを認めないのを原則とする。特に事業費会計の資金を運営費会計に流用、支出することは禁止されている。
 - *運営費会計に余裕がある場合は事業費に流用することは出来るが、年度末に於いて、運営費が赤字になるからといって元に（事業費を運営費に）戻すことはできない。クラブ会計が赤字になれば、そのクラブはグッド・スタンディングなクラブではなくなり、国際会則上の保有すべき権利が停止される。
 - *会食費は一定額を理事会が定め、例会の承認を得なければならない。
 - *会食費会計の剰余金は、次年度に繰り越さない。通常は運営費会計へ持っていくが、事業費会計または積立金に繰り入れてもよい。
 - b. 国際協会、複合地区、地区会費などの請求は、日本ライオンズ連絡事務所を通じて各クラブへ請求される。

336-D 地区 2014～2015 年度 地区会費について

複合地区会則 24 条 3 項による 2014～2015 年度の地区会費を次の通りとする。

会員 1 名当り 1 ヶ月	
地 区 費	900 円
地区大会費	180 円
合 計	1,080 円

クラブに負担していただく会費 1 名当りの会費・納入金

国際協会付則代 12 条 2 項会費

\$

費用	1 ヶ月	半期	1 年	備考
国際会費		21.5	43	2014～2015 年度

※2013 年 7 月以降は半年会費が 21.5 ドル、年間 43 ドルに値上げされる

※国際大会費、ライオン誌購読料の規定が削除された

以上は、国際本部より請求書が各クラブへ送付されます。

(MyLCI での請求書閲覧のみも選択可)

費用	1 ヶ月	半期	1 年	備考
ライオン誌負担金	50 円	300 円		
ライオン誌送料	60 円	360 円		

以上は、ライオン誌日本語版事務所より請求書が各クラブへ送付されます。

費用	1 ヶ月	半期	1 年	備考
複合地区費	150 円	900 円	1,800 円	複合地区会則別表②
複合地区大会費	80 円	480 円	960 円	複合地区会則別表②
合計	230 円	1,380 円	2,760 円	

費用	1 ヶ月	半期	1 年	備考
地区費	900 円	5,400 円	10,800 円	
地区大会費	180 円	1,080 円	2,160 円	
合計	1,080 円	6,480 円	12,960 円	

国際協会モットー

We Serve

地区アクティビティスローガン

光と愛を

次期国際会長スローガン

プライド

2014~2015年度国際テーマのハイライト:誇りを高める

ライオンズクラブ国際協会会長 ジョセフ・プレストン



2014~2015年度、私たちライオンズは、家族である135万人の会員の絆をさらに強め、協調と相互理解の精神のもと奉仕に取り組むことにより「誇りを高める」ことができます。これは得意になって自慢するという意味の誇りではありません。より良い地域づくりに向け成し遂げたことへの誇り、有意義な奉仕を行っていることへの誇り、自力だけでは困難を切り抜けられない人々を助けることへの誇りのことです。この誇らしく思う気持ちが、私たちに他者への奉仕を決意させる基となるものを作るのであり、私たちを人道奉仕におけるグローバルリーダーにならしめているのです。これは、これからの1年にわたり、また協会創立100周年を通じて、更には今後100年に及び、成功を収めるための礎となるものです。

奉仕を通じて誇りを高めよう

1917年の創設以来、奉仕は本協会の基盤となってきました。そして2014年、私たちは3年間に及ぶ創立100周年祭を開始し、地域社会への奉仕に対する献身に敬意を表します。

- ・ **100周年記念奉仕チャレンジ**: この奉仕の祝祭は2014年7月に開始され、2017年12月に締めくくられます。100周年記念奉仕チャレンジには四つの要素が設けられ、グローバル奉仕実施キャンペーン・プログラムに沿った事業への参加を報告したクラブに対して、特別な表彰が行われることとなります。

これからの1年、クラブはまた、読み書き、飢え、虐待、貧困といった問題に対応する特別なプロジェクトに参加することにより、支援が受けられないでいる恵まれない子どもたちのニーズに対応するよう呼びかけられます。こういった活動に参加するよう、友人や家族を誘ってください。

会員増強を通じて誇りを高めよう

ライオンズの焦点は奉仕ですが、それを行う力は会員と直結しています。うれしいことに過去6年間会員が増えてきていますが、人道奉仕におけるグローバルリーダーとしての役割を維持しようとするのであれば、私たちは引き続き会員を増やしていく必要があります。次の方法で会員増強を推進することができます。

- ・ **アスク・ワン (一人誘おう)**: 2014~2015年度、会員一人ひとりが少なくとも一人の新会員を招請し、奉仕をしたいという強い気持ちを持っている人の勧誘に取り組むべきです。例えば「誘ってみよう」パンフレットなど、勧誘活動に役立つ資料が用意されています。

- **心構えをする** :クラブは新会員を迎え入れる準備を整える必要があります。それによりタイミングよくクラブの承認を得、意義深い入会式と緻密な新会員オリエンテーションを行うことができます。可能な限り入会式には国際会長、地区ガバナー、元役員、理事を含めることが求められます。
- **どんなクラブにも計画が必要** :クラブは、クラブと地域に合った会員増強および指導力育成計画を立てるべきです。
- **特定の対象に目を向ける** :私たちはあらゆる層における会員増強に努めている一方、女性や若者の入会招請に集中的に取り組むよう、会員に奨励することもできます。
- **クラブを増やそう** :ガイディング・ライオンから得られる支援などを含め、エクステンションに役立つツールや資料を活用し、新クラブを結成しましょう。
- **既存クラブの再建** :問題を抱えているクラブにガイディング・ライオンを割り当て、こうしたクラブの会員増強、運営改善、奉仕拡大において支援をしてください。

クラブを強化することにより、誇りを高めよう

基本に戻り、クラブを強化することにより協会を強化する時が来ました。各クラブには、クラブが行っていることを調べ、クラブの活性化を図るために新たな管理運営方法やテクニックを導入することが奨励されます。目標は、より明確な焦点、進路、意欲、目的をクラブに持たせることです。クラブは、以下のようなさまざまな方法を用いてこれを達成することが可能です。

- 地域社会奉仕ニーズ調査を行って、どうすれば最適な方法で自分たちの地域に奉仕できるかを見極める
- 新会員とのつながりを築くことに力を入れ、そして彼らに家族のように接する
- クラブ向上プロセス（CEP）に参加し、クラブの充実化を図り、クラブにおける会員の経験を良いものにする
- すべての会員がクラブの活動や運営に積極的に参加していることを確実にする
- レオクラブをスポンサーする

リーダーシップを通じて誇りを高めよう

優れたクラブ指導者を育てることでクラブの強化を図ることが可能です。優れたリーダーの育成は、有意義な入会式と適切なオリエンテーションから始まります。それをした上で、クラブは下記の方法でクラブのリーダー育成を促すことができます。

- 新会員が入会したら委員会に配属し、その会員の指導力を伸ばす
- クラブ役員研修を行い、その職務を全うできるようにする
- 会員オリエンテーション、メンタリング、ゾーン会議参加、その他の指導力育成研修についての目標を含む指導力育成計画を策定する

パートナーシップを通じて誇りを高めよう

同じ志を持った人々や企業・団体と協力し合うことにより、私たちはより多くのことに取り組み、より多くのことを達成することができます。クラブは、相互に利をもたらし、地域の改善につながり、恵まれない人々により良い奉仕を提供できる時には、他との協力関係を結ぶことが奨励されます。

決意刷新を通じて誇りを高めよう

ライオンズ創設者メルビン・ジョーンズは、創設時当初の会員たちに奉仕を誇らしく思う気持ちを植え付けました。100周年を記念する準備を整えるにあたり、ライオンズ創始者に敬意を表し1月13日のメルビン・ジョーンズの誕生日を祝う予定を立て、国際協会の地域および人道支援の方針、目的、原則に対する決意を新たにしてください。

分け与えることを通じて誇りを高めよう

寄付をすればするほど、分け与えられるものが増大します。今年度、すべてのクラブに、私たちの協会の慈善部門であるLCIFへの寄付が呼び掛けられます。

独創力を通じて誇りを高めよう

新たな課題を受け入れ取り組む能力は、ライオンズがこれまでに収めた成功に重要な役割を果たしてきました。私たちの今後の発展を確実なものとするためには、テクノロジーを独創的な形でうまく利用する必要があります。国際協会では強力なオンライン・ネットワークとソーシャルメディアを構築しており、私たちはこれらを活用し、下記のようにして誇りを高めることができます。

- Facebook、Twitter、YouTube、国際協会のブログ、その他のサイトを使う
- クラブ・地区のウェブサイトやソーシャルメディアのページ（Facebookなど）開設を推進する
- クラブが活動を報告し、情報を見つけ出し、誇りを分かち合うことを容易にしてくれるアクティビティ報告やMyLCIといったツールを使用・推進する
- ソーシャルメディアについての知識を増やす機会を利用したり、地区や複合地区の大会、エリアフォーラム、あるいは国際大会でセミナーや研修に出席したりする

勇気と信念を通じて誇りを高めよう

ライオンズの会員は勇気と信念の両方を持っています。ライオンズとして私たちは、声を高らかにしてその存在を知らせる必要があります。私たちがどういった団体であるかということ、つまり、やるべき奉仕があるゆえに、ライオンズはどんな課題があろうともそれを提供しようとする努力を絶対にやめたりしない人々の集まりであることを世界に伝える必要があるのです。

地区ガバナーエレクトの皆さん、奉仕、会員増強、クラブ結成、パートナーシップ、指導力育成、決意刷新、独創力、勇気、そして信念をもって全力を注ぐことにより、私たちにはこれまでにまして大声で「ライオンズのローア」をあげる機会があるのです。ご自分の取り組みを調整し、チームと協力し、入手可能な資源を活用して誇りを高めることへの決意をしてください。

寛容の

心で

We Serve

以前ライオンズの誓いは“われわれは知性を高め、友愛と寛容の精神を養い・・・”
でした。だが最近では“友愛と相互理解の精神・・・”となりました。

寛容と相互理解では多少意味合いが違うし、我々日本人には
寛容の方が向いている様に思います。

近年、人間関係が希薄になり、世の中が冷たくなった様に思います。

トラブルも多発しております、ライオンズクラブでも同様です。

人間の心には色々と難しいものが存在しますが、中でも特に

“他人におおらかになる・相手を許す”は不可能とも思える程です。

もし、我々が少しでも寛容の心が持てたら、ライオンズクラブは

もとより、社会からもトラブルを減らす事が出来ると思います。

明るい未来が望めない現在だからこそ、“**寛容の心**”で

少しでも、楽しいクラブライフ、優しい社会を目指したいと思います。

そうすれば、今のクラブも今住んでいる街も、そして今の人生も

そんなに悪くないと・・・気付くかも知れません。

ガバナー基本方針

ガバナースローガン

“寛容の心で We Serve”

足もとを見据えたクラブ運営を目指し、下記の通り基本方針とする。

- ① 国際会長の方針を尊重し行動します。

- ② 会員維持に努力し、会員（正会員）の増強を目指し、
たとえ1クラブでもエクステンションを実現したい。

- ③ 会員層の幅を広げる為、若年層、女性会員の獲得に力を注ぎ
クラブの活性化を計る。

- ④ 労働奉仕に重点を置き、献眼・献血活動を更に拡大し、社会奉仕
に貢献する。

- ⑤ YCE 活動を活発に行い、青少年の健全育成に努め
グローバルな青少年を育成し、国際協調に貢献する。

1、家族会員について

①国際協会には正会員として登録するが、単一クラブとしては各クラブの自主的な判断に委ねる。

②今期(2014 年～2015 年)の会員増強アワードについては、家族会員は正会員としてカウントしない。

ロゴマーク



夏みかん・白壁・美しい海・椿の花、そして吉田松陰

もし萩の字が無くても誰もが萩をイメージします。

明治維新発祥の地、素晴らしい萩・・・・・・・・。

松陰先生の教えを守り、ライオンズ維新を目指します。



2014-2016年 国際理事候補者経歴書

にし かわ よし のり
西川 義規

- 所属クラブ ライオンズクラブ国際協会 335-D 地区
1R3Z 姫路白鷺ライオンズクラブ
- 生年月日 昭和13年10月22日
- 住 所 〒671-0253 姫路市花田町一本松字上邸 208
- 勤 務 先 〒671-0253 姫路市花田町一本松字上邸 208
医療法人社団 こうのとり会 西川産婦人科 理事長
- ライオン暦
- | | |
|-------------|--|
| 1975年 | 姫路白鷺LC 入会 |
| 1995年～1996年 | 姫路白鷺LC 会長 |
| 1997年～1998年 | 335-D地区 YE・レオ・ライオネス委員長 |
| 1998年～1999年 | 335-D地区 1R3Z ゾーン・チェアマン |
| 1999年～2000年 | 335-D地区 1R リジョン・チェアマン |
| 2002年～2003年 | 335-D地区 副地区ガバナー |
| 2003年～2004年 | 335-D地区 ガバナー
335複合地区ガバナー協議会議長 |
| 2004年～2005年 | 国際理事候補者選挙管理委員
335-D地区 名誉顧問会議長 |
| 2005年～2006年 | 335複合地区長期計画・リサーチ委員長 |
| 2005年～ | 335-D地区 名誉顧問 |
| 2006年～2007年 | 国際理事候補者選挙管理委員 |
| 2007年～2008年 | 335複合地区視力ファースト・献血推進委員長
※ライオンズ・リーダーシップ研究会受講 (1999年 シンガポール) |
- ライオン関係受賞歴
- 小国博之賞 (1997-1998年)
 - 国際会長感謝状 (1998-1999年)
 - 国際貢献賞 (2004-2005年)
 - C S F II 「奉仕の騎士」賞 (2007-2008年)
 - メルビン・ジョーンズ・フェロー 120回
 - 会員25人キー賞 (シニア・マスター)
 - ヒューマニタリアンパートナーズ賞
 - LCIF 感謝状

地区運営及び奉仕活動の重点

1、地区キャビネットのあり方

地区内ライオンズクラブの融和強調を図るとともに、ライオニズムの高揚のために、ライオンズクラブ国際協会の理念を基に、336複合地区ガバナー協議会の基本方針に従い、336-D地区各クラブの要望に応えるべく、積極的な情報収集に努め、円滑なクラブ運営となるよう指導していく。

2、キャビネットの合理化の進化

- 1) キャビネット運営の合理化を継続し、経費の節減を図る。
- 2) 各種会議を見直し、簡素化を図る。
- 3) 各種会議の議事録を作成する。
- 4) 地区名誉顧問会議については、次年度キャビネット開局後、またガバナーの要望に応じて開催する。

3、事務の合理化 IT の活用

ITを活用し、事務の簡素化を進める。

- 1) キャビネットHPを活用し情報収集及びPRを実行する。
- 2) サバンナを活用しマンスリーを報告。
- 3) ペーパーレス化を進める。
 - ・キャビネット役員名簿をIT情報に替える。クラブ会員が情報を共有する。
- 4) キャビネット会議議案等もIT情報に替え、各クラブで印刷し、情報を共有する

- RC・ZC・各委員長の活動費は定額支給とし、活動計画を立案して必要経費を請求する。
- 地区名誉顧問会議はキャビネット方針審査時と、適宜必要とした時に開催する（交通費・宿泊費支給）
- 地区名誉顧問の方々にキャビネット会議のご案内は致します（第1回・第4回のみ交通費・宿泊費支給）がリジョン・ゾーンで会議等を開催するときは出席要請する（交通費は不支給）
- キャビネット会議後の地区常任名誉顧問会議は必要に応じて開催する。
- ペーパーレス化を推進し会議資料等は事前に各クラブ宛てにメール送信する

- キャビネットフラッグ・バッジは作成せず、キャビネット便箋も市販で対応する
 - 獅子吠は年4回発行し、そのカバーは336-D HPで随時アクティビティ等を掲載する
 - キャビネット役員の名刺は委員長以上作成する
 - キャビネット役員、クラブ3役の写真は各自提出のものを使用する
-

4、ガバナー公式訪問

ガバナー公式訪問をゾーン単位の合同訪問とし、ゾーン内の融和を図り、各クラブの意見を聴取する

- 1) 節減のため、質素な形式にしながらも、共通の話題を語り合う。
- 2) 公式訪問前にクラブに対して質疑事項を送付し、訪問時口頭で回答する。
- 3) 公式訪問時に例会訪問を実施する。(希望)
- 4) 公式訪問の次第を事前に ZC へ伝達する。

5、奉仕活動の改革

地区内のライオンズクラブは年数を重ねたクラブが増えている半面、エクステンションが難しい状況にある今、寄付団体的な評価からの脱皮を図りアクティビティが単に継続されるだけでなく、新たな事業も探究して頂きたい。

6、PR・情報

広報活動とは、会員及び地域社会に対してライオンズクラブの奉仕事業や活動を推進し、ライオンズクラブ国際協会に関する情報を広め、協会のイメージの高揚に努めることでもあります。地区での任務に当たるのは、地区 PR・情報委員長です。PR・情報委員長はプログラムが正しく伝えられるように、各委員長と密接に情報交換し協力していかなければなりません。IT の固定化になり、インターネットを活用し、情報をインプットし収集できるようになっております。各クラブの事務局においてもクラブ員各位に広く活用していただくよう推進をお願いします。なお、普及してないクラブには、キャビネット事務局よりクラブ事務局を通して対応します。

7、GMT、GLT、

会員増強とドロップの防止（増やせども、減らさず）を継承します。

会員増強は困難ながら、クラブのマンネリ化を解消し、若い会員のパワーをクラブに持ち込み、そのクラブが新鮮で進化するためにも新会員の獲得は重要です。

なお、退会者が出ないことを望みますが、出るようであれば、事前に防止に向けて対処して頂くようお願いいたします。

1) GMT（グローバル・メンバーシップ・チーム）

1～7Rの委員長は地区委員と共にその責務を果たして下さい。

2) 家族会員については、地区として定着までに至ってないが、引き続きクラブにおいて研鑽して頂きたい。そして、若年者、女性会員を迎え入れ、なごやかな中にも、活性化を図って下さい。

3) GLT（グローバル・リーダーシップ・チーム）

GMTと共同で、未来のライオンズを担える人材を育成する為に、研修会を開催し、その推選をP・D・C・Aで検証して参ります。

4) 会員維持のためドロップをなくす努力をクラブ、GMT委員会で検討し、実行して下さい。

5) 会員純増目標

1クラブ純増1名以上を目標として下さい。

8、YCE 事業

ライオンズクラブ YCE 事業（交換学生）は、世界ライオンズとのネットワークで行われており、交流により国際的視野を深め、世界平和へ貢献できる青少年健全育成を目的としているものです。今年も積極的に推進して行きましょう。

9、保健福祉環境保全「献眼・献血」

地区アクティビティスローガン「光と愛を」にあるように、献眼運動はライオンズクラブの奉仕活動の主要テーマです。今年度も積極的に献眼登録を推進して行くと共に、献眼発生時には敏速正確な対処を図るよう、研修会の開催等で理解を深めてまいります。

献血運動は日本に限らず、世界においても有数な献血推進団体として協力し、素晴らしい成果を上げております。しかし、若年層の献血者が少ないとのデータが出ています。そうした状況を踏まえ、特に若年層への啓発を重点において、積極的に献血運動を展開していただきたい。今年も引き続き、献眼・献血0クラブをなくす努力をお願いいたします。

10、LCIF への寄付金推進

LCIF はライオンズ国際財団と称し、寄付を受けた基金を運用して、大災害や緊急事態の救済、その他世界的に人類の福祉に貢献することを目的とする財団です。

LCIF への寄付金は、一人当たり 20 ドルを目標に活動して下さい。

MJF への寄付金は、有志によりますが何かの記念に各クラブで努力願ひ、一人でも多くの方をお願いしたいと思います。寄付金は1回1,000ドルが単位です。

LCIF の交付金の活用については、クラブが理解を深めると共に、D 地区内から LCIF の助成金を獲得できるアクティビティを申請できるように取り計らって参ります。

11、青少年健全育成

(ライオンズクエスト)

○青少年にライフスキルを

この事業は LCIF の支援を受けて実施しております。336-D 地区の重点事業として取り組み、今年度で6年になります。教師と生徒がともに模索しながら考え、思春期の青少年少女に生きる力(ライフスキル)を身につけさせる教育のプログラムを支援することを目的にしています。われわれメンバーが教えるのではなく、特定非営利活動法人青少年育成支援フォーラムの普及活動を通じて、その指導のための認定講師を派遣する活動の支援です。

(薬物乱用防止)

○薬物乱用の低年齢化防止

薬物乱用の低年齢化を防止するために、中学生、高校生を対象に「薬物乱用教室」を展開していきます。またその際、ライオンズクラブ会員による薬物乱用教室認定講師の派遣要請があった場合の対応に、認定講師の養成講座講習会を開催します。

◎青少年健全育成基金のお願い

各クラブの周年行事が展開されています。金額の多少を問わず周年行事アクティビティの一つとして、青少年健全育成基金への寄付をお願いします。

(スカウトジャンボリー)

1 2、平和ポスターコンテスト

国際平和ポスターコンテストは11歳～13歳の生徒を対象に、毎年ライオンズクラブ国際協会をスポンサーとし実施されます。各ライオンズクラブは、地元の学校又は、青少年組織団体でコンテストをスポンサーすることが出来ます。1つの学校につき、1点の入賞作品が選ばれます。各学校コンテストの入賞作品は次のレベルの審査（地区、複合地区、国際のレベル）に進みます。地区ガバナーは複合レベルでのコンテストに出品するために、地区の最優秀作品を複合地区協議会に提出します。国際入賞者はライオンズ誌及び国際協会のウェブサイトで発表されます。各学校へのPRを宜しくお願い致します。

1 3、奉仕デーの活用

10月8日は世界ライオンズ奉仕デー（World Lions Service Day）です。各クラブでは地域の方々（ボランティア団体等）と協議し、事業や奉仕活動を積極的に推進して下さい。

今年も、1クラブ\$100以上の献金を実施下さる様希望します。

1 4、東日本大震災の復旧・復興

昨年に引き続き、被災者の方々へのライオンズクラブとして支援の環を広げ、一日でも早く復興が可能になる様、地域ぐるみのチャリティー等のアクティビティを推進していただきたい。

1 5、336-D 地区緊急援助資金の補填について

昨年7月8月の二度の豪雨災害に336-D地区緊急援助資金の基金及び援助引当金から合計2,500,000円を取り崩し交付した。この結果、現在(2013年12月31日現在)の残高3,659,096円である。336-D地区緊急援助資金規定に「基金の額は最低500万円とする」と定められているので、補填が必要です。

第 23 回世界スカウトジャンボリーへの支援に関して

第 23 回世界スカウトジャンボリーが、下記日程において開催されます。

世界スカウトジャンボリーは、4 年に 1 度開かれる世界スカウト機構主催の青少年大会で、世界 161 の国と地域から 3 万人が集まり、キャンプをしながら「世界の仲間」と体験を共にします。

日本では、1971 年に静岡県朝霧高原で開催されて以来第 2 回目で、今回の第 23 回世界ジャンボリーは 2015 年に MD336-D 地区内の山口市きらら浜を主会場に開催されます。

大会総裁には、森 喜郎元首相、名誉会長 安部 晋三首相や、経団連会長・ボーイスカウト日本連盟理事長等、政官財の代表者が運営にあたっている、青少年(14～17 歳)を対象とした教育行事です。

この支援につき、前年度のキャビネット会議で提案審議し、先の第 59 回地区年次大会で、本年度に継続審議事項として引き継がれることになりました。

また、6 月 6 日の第 5 回 336 複合地区ガバナー協議会で、『336-D 地区で支援内容を検討した後、336 複合地区ガバナー協議会、8 複合地区議長連絡会議へ上程する予定である』ことが、今期の 336 複合地区ガバナー協議会に申し送りされました。

つきましては具体的方途として、一人当たりの支援金を、336-D 地区は 3,000 円、336-A～C 地区は 2,000 円、他 MD は 1,000 円をとし、約 1 億 1 千万円をライオンズクラブで集め、テント(1 億 845 万円)を寄贈したいと思えます。オールライオンズにとりましても青少年健全育成活動の一環として協賛し、成功させたいと切に願い協力を要請するものです。

1. 会 期 平成 27 年(2015 年)7 月 28 日(火)～8 月 8 日(土) 12 日間
2. 会 場 山口県山口市きらら浜
3. テ ー マ 「和」: WA : a spirit of unity
4. 寄金募集案 今年度下期地区会費納入時から 1 回 1,000 円／一人を来期上・下期までの 3 回に分納する

尚、現在ボーイスカウト日本連盟より、国税当局に「指定特別寄付金」の指定要望が提出される予定とのことで、個人に対する確定申告時の特別控除の対象となる運びです。

必ず下記の寄金口座にご入金下さい。(特定寄付金として把握をする為です)

閣議了解 平成 23 年 12 月 16 日
公益財団法人ボーイスカウト日本連盟が、平成 27 年に山口県山口市きらら浜において実施する第 23 回世界スカウトジャンボリーに対し、関係行政財団は必要な協力を行うものとする。

クラブ運営について

ライオンズクラブの基本的な在り方

多くの団体は、役員や一部の執行役によって通常の運営が実施されている場合が多いのですが、ライオンズクラブは会員全員によって運営されるのが特徴です。

会員全員が平等の権利と義務を持って「全員参加」と「民主的ルール」によって運営されます。

各クラブは、理事会によって推選され、クラブで承認された日時及び場所で、毎月少なくとも2回開催するように推奨される定期的な集会(例会)と、理事会の決定する日時及び場所で毎月すくなくとも1回開催するように推奨される定例理事会、そして必要な都度開催される委員会があります。

例会・理事会・委員会は、クラブ運営の正式機関としてそれぞれの役割を持ち、いずれも不可分な関係にあります。

そして例会と委員会は、ライオンズクラブ特有な「全員参加」の仕組みになっております。

例会の在り方

例会はクラブの最高決議機関です。

新しい企画や内規の制定、改廃をはじめ理事会で決定されたことでも、例会の承認なしには実行できないことが多くあります。

例会出席は会員の重要な義務であり、例会の欠席は会員としての「権利放棄」に繋がります。

例会の実出席率はクラブ活性化のバロメーターとなります。例会を楽しく意義あるものにする努力が各会員に課せられているといっても過言ではないと思います。

例会の不活性化なクラブから、ドロップ会員が多発している状態を直視する必要があります。

実出席が難しい場合もありますので、その際は「出席メイクアップ規則」を忠実に守り、出席率の向上に努力しましょう。

メイクアップは所属クラブだけでなく、ゾーンやリジョン・姉妹・ブラザークラブの例会も許容し、会員同士の研鑽の役に資するよう改革して参りましょう。

クラブ周年記念について

MD336 運営マニュアルに、クラブ周年記念について提言があり、その趣旨として「クラブ運営の活性化と、会費の値上げ抑制を図ることを主眼」に、周年記念会合と周年記念事業の在り方について、5年刻みの記念式典は、チャーターナイトとは全く趣を異とするものであることから自粛すべきである、とあります。

しかし、多くのクラブで5年または10年区切りで周年記念大会が開催され、クラブ活性化に資する現状があることは周知の事実であります。

今年度も50周年を迎えるクラブが多数あります。

日本人の価値観が大変貌している現在、50周年を過ぎたクラブから率先して、提言に沿って運営されるのも一つの選択肢ではないでしょうか。

「チャーター・ナイト記念会を毎年開催し、ライオンズの目的・道徳綱領及び本クラブの歴史を特に強調する」とクラブ附則に定められています。

クラブ周年記念の会合を開催する本旨は、クラブが毎年開催すべきチャーター・ナイト記念の目的をいっそう強調することになるのではないかと思います。

25年・50年はシルバー・ゴールド・アニバーサリーであることから、国際会長を招待することもできる重要な式典ですので意義ある企画を行ってほしいと思います。

本年度のクラブ周年行事への地区ガバナーに対する出席要請につきましては、出来る限り対応して参りたいと思っております。各クラブのご理解を得たいと思います。

2014～2015年 委員会構成・略称表

委員会略	所属委員会
PR 情報委員会	PR・ライオンズ情報・獅子吼・IT 大会参加・プロトコール
GMT 委員会	会員・会則・エクステンション 運営マニュアル
GLT 委員会	指導力育成
国際関係委員会	国際関係・LCIF・MJF
YCE 委員会	YE・キャンプ
保健福祉環境保全委員会	献眼・献血・視聴覚言語障がい者福祉 環境保全・フォトコンテスト
青少年健全育成委員会	薬物乱用防止・児童福祉・レオ ライオンズクエスト・平和ポスター

※LCIF 委員会は作らず、LCIF コーディネーターを置く

ガバナーズアワード (案) 2014～2015

種 類	授与基準	対象期間	審査認定	授与方法
1、総合最優秀クラブ 総合優秀クラブ	1クラブ 5クラブ	2014、3 ～2015、2	キャビネット 選考会議 (ZC→RC 経由に て申請)	地区年次大会
2、エクステンション賞	スポンサーしたクラブ	2014、3 ～2015、2	キャビネット 選考会議	地区年次大会
3、会員補強部門	クラブ員純増 5%以上 女性会員の増強に努めた クラブ 5 名以上スポンサーした 個人	2014、3 ～2015、2	キャビネット 選考会議 (ZC→RC 経由に て申請)	地区年次大会
4、地域奉仕部門	奉仕活動が効果的な発想 で行われ、且つその成果 が地域社会に多大に貢献 したクラブ 継続的な奉仕活動が地域 社会に受け入れられ顕著 な実績をあげているクラ ブ	2014、3 ～2015、2	キャビネット 選考会議 (ZC→RC 経由に て申請)	地区年次大会
5、LCIF 部門	LCIF 事業に特に貢献著 しいクラブ	2014、3 ～2015、2	キャビネット 選考会議	地区年次大会
6、PR・IT 部門	地域社会に最も効果的な PR を実施したクラブ	2014、3 ～2015、2	キャビネット 選考会議	地区年次大会
7、会長・幹事・会計 リーダーシップ賞	マンスリーレポート提出 が期限内に正確に提出さ れること、国際会費・地 区費が期限までに納入さ れること	2014、3 ～2015、2	キャビネット 選考会議	地区年次大会
8、ガバナー特別功労賞	特に賞揚に値する者	2014、3 ～2015、2	ガバナー専決	地区年次大会

キャビネット業務分担表

分担表①

役 職	幹事	会計	副幹事	副幹事
	齋藤幸男	三好一敏	阿合孝徳	廣畑雅弘
所属 LC	萩 LC	萩 LC	松江葵 LC	萩 LC
関係委員会	全般	全般	全般	PR・情報・IT
分 担 す る 業 務	<ul style="list-style-type: none"> ●地区運営全般の管理 ●各種会合の委員会・研修会の準備 ●名誉顧問会・RC・ZC・会議に関する業務 ●地区役員研修会に関する業務 ●マンスリーレポートの点検・集計 ●審査・表彰決定の作成 ●キャビネット事務局の運営管理 ●諮問委員会関係 ●地区行事計画の作成業務 ●クラブの周年行事に関する業務 ●地区組織表作成業務 ●キャビネット構成委員・名誉顧問・クラブ3役の名簿作成業務 ●文書の発信 ●キャビネット局内の会議の連絡 ●諸会議の案内・出欠・及び記録に関する業務 ●複合地区運営委員 ●次年度国際関係委員長 	<ul style="list-style-type: none"> ●地区予算・決算関係業務の統括 ●事務局会計業務の統括 ●地区大会予算の業務 ●各クラブの財政状況の把握 ●各クラブ出納事務の指導 ●地区監査委員との連絡業務 ●ガバナー経費の請求 ●旅費・慶弔の出納業務 ●特別会計文書の発送 ●拠出金の出納業務 ●2年後年度から2年間監査委員 ●通年4年後の年次大会での会計報告 	<ul style="list-style-type: none"> ●次期キャビネット立上げに向けて幹事業務・会計業務等全般において研修 ●現キャビネット幹事補佐 ●会員増強・エクステンションに関する情報収集 ●LCIF・MJF に関する啓蒙活動 ●YCE 事業の継承活動 ●献眼・献血に関する啓蒙活動 	<ul style="list-style-type: none"> ●PRに関する業務 ●ライオンズ情報に関する業務 ●地区誌・キャビネット情報誌の発行業務 ●地区年次大会誌の発行業務・地区運営に関する幹事補佐 ●国際大会等各種大会の情報収集並びにPR ●キャビネット事務局ニュース作成業務担当委員との連絡調整 ●マンスリーレポートの点検指導 ●担当会議等の指導と出席者の確認 ●報道機関への連絡と取材対応 ●各クラブの IT 化への指導 ●ホームページ立上げと各種更新業務 ●ライオンズクラブ国際協会の EMMR とのリンク業務 ●IT 導入の指導・援助 ●議事録・各種会議資料のペーパーレス化の推進業務
協 力 業 務	<p>《幹事以下全員が協力する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全ての行事計画に関する業務 ● 予算案に関する業務 ● 公式訪問に関する業務 ● キャビネット会議・地区名誉顧問会議等の諸案作成 ● 地区年次大会・代議員会に関する一切の業務 ● その他必要に応じて全員で協力体制の構築 ● キャビネット局内会議連絡調整点検の協議を行う体制の構築 ● OSEAL・国際大会の代議員の出席勸奨と督励 			

キャビネット業務分担表

分担表②

役 職	副幹事	副幹事	副幹事	副幹事
	宮本直治	岩川宗和	岡田和好	下井克己
所属 LC	萩 LC	萩 LC	長門 LC	秋芳 LC
関係委員会	国際・LCIF	GMT・GLT	YCE	保健福祉環境保全
分 担 す る 業 務	<ul style="list-style-type: none"> ●国際関係に関する業務 ●LCIF・MJFに関する業務 ●キャビネット役員の記事参加の要請と確認業務 ●YCEに関する啓蒙活動を指導 	<ul style="list-style-type: none"> ●援助要請があるクラブへの強化に関する援助 ●GMTに関する複合地区ガバナー協議会及び地区内委員長・委員の業務補佐 ●会員拡大・脱会防止への積極的指導 ●指導力向上に関する積極的指導 ●GLTに関する複合地区ガバナー協議会及び地区委員長・委員の業務補佐 ●会則運営マニュアルの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ●YCEに関する全てについて委員長を補佐し連絡・調整業務 ●YCEの計画立案の補助業務 ●派遣・受入の旅程・336受入窓口調整業務 	<ul style="list-style-type: none"> ●献眼・献血・視覚障がい福祉・聴覚・言語・精神障がい・環境保全に関する業務 ●植樹事業拡大に関する業務
協 力 業 務	≪幹事以下全員が協力する業務≫ <ul style="list-style-type: none"> ●全ての行事計画に関する業務 ●予算案に関する業務 ●公式訪問に関する業務 ●キャビネット会議・地区名誉顧問会議等の諸案作成 ●地区年次大会・代議員会に関する一切の業務 ●その他必要に応じて全員で協力体制の構築 ●キャビネット局内会議連絡調整点検の協議を行う体制の構築 ●OSEAL・国際大会の代議員の出席勧奨と督励 			

キャビネット業務分担表

分担表③

役 職	副幹事	副会計	大会委員長	大会副委員長
	森田哲弘	富川芳人	井町 實	黒瀬 正
所属 LC	田万川 LC	菽 LC	菽 LC	長門 LC
関係委員会	青少年健全育成	副会計	大会全般	大会全般
分 担 す る 業 務	<ul style="list-style-type: none"> ● 青少年健全育成に関する業務 ● 児童福祉に関する業務 ● ライオンズクエストに関する業務 ● レオクラブに関する業務 ● 薬物乱用防止に関する業務 ● 平和ポスターに関する業務 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地区会計予算・決算書作成 ● 地区会計月別決算書の作成 ● 地区会計の出納業務 ● 地区大会費会計の予算・決算書の作成 ● 地区大会会計の出納業務 ● 各特別会計の予算・決算書の作成 ● 地区年次大会関係業務 ● 地区年次大会誌発行に関する業務 ● ガバナー経費の請求業務 ● 旅費・慶弔費の出納業務 ● 各特別会計文書の発行 ● 地区ガバナーバッジ・バナー等資産の管理業務 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地区年次大会計画業務全般 ● 前年度年次大会での開催予告・PR・案内応援団結成とスローガン並びに挨拶 ● 大会当日の歓迎挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大会委員長を補佐し、大会全般をサポートする。
協 力 業 務	≪ 幹事以下全員が協力する業務 ≫ <ul style="list-style-type: none"> ● 全ての行事計画に関する業務 ● 予算案に関する業務 ● 公式訪問に関する業務 ● キャビネット会議・地区名誉顧問会議等の諸案作成 ● 地区年次大会・代議員会に関する一切の業務 ● その他必要に応じて全員で協力体制の構築 ● キャビネット局内会議連絡調整点検の協議を行う体制の構築 ● OSEAL・国際大会の代議員の出席勸奨と督励 			

キャビネット業務分担表

分担表④

役 職	大会副委員長			
	川原謙一郎			
所属 LC	萩 LC			
関係委員会	大会全般			
分 担 す る 業 務	●大会委員長を補佐し、大会全般をサポートする			
協 力 業 務	≪幹事以下全員が協力する業務≫ ● 全ての行事計画に関する業務 ● 予算案に関する業務 ● 公式訪問に関する業務 ● キャビネット会議・地区名誉顧問会議等の諸案作成 ● 地区年次大会・代議員会に関する一切の業務 ● その他必要に応じて全員で協力体制の構築 ● キャビネット局内会議連絡調整点検の協議を行う体制の構築 ● OSEAL・国際大会の代議員の出席勸奨と督励			

キャビネット・ローテーションについて

① 従来の実績

302-W-4

年度	64~65	65~66	67~68	69~70	70~71	73~74	74~75	76~77
クラブ	岩国	松江	下関	浜田	徳山	出雲	山口	萩
リジョン	4R	1R	7R	3R	5R	2R	5R	6R

336-D

年度	77~78	78~79	79~80	80~81	81~82	82~83	83~84	84~85	85~86	86~87	87~88
クラブ	下関東	江津	防府	柳井	松江	山陽	徳山東	益田	岩国	下関西	出雲
リジョン	7R	3R	5R	4R	1R	6R	5R	3R	4R	7R	2R

年度	88~89	89~90	90~91	91~92	92~93	93~94	94~95	95~96	96~97	97~98	98~99
クラブ	宇部	下松	松江 湖城	柳井	下関 響灘	浜田	宇部 新川	防府 ゴールデン	出雲 中央	岩国錦	松江葵
リジョン	6R	5R	1R	4R	7R	3R	6R	5R	2R	4R	1R

年度	99~00	00~01	01~02	02~03	03~04	04~05	05~06	06~07	07~08	08~09	09~10
クラブ	下関東	宇部 ときわ	山口	松江 湖城	防府 ゴールデン	浜田 亀山	下関	出雲	山陽	山口	東出雲
リジョン	7R	6R	5R	1R	5R	3R	7R	2R	6R	5R	1R

年度	10~11	11~12	12~13	13~14	14~15
クラブ	岩国錦	益田 あけぼの	下関北	松江	萩
リジョン	4R	3R	7R	1R	6R

当地区では従来はガバナー選出につき、県別を考慮し実施してきたが、リジョンによるローテーションがより合理的であるので、将来の予定を次の如く設定した。

☆リジョン・ローテーション

島根県	3R	2R	1R	3R
山口県	4R	7R	6R	5R

② 今後のローテーション

年度	15~16	16~17	17~18	18~19	19~20	20~21	21~22	22~23	23~24
リジョン	1R	4R	3R	5R	2R	7R	1R	5R	3R

※この承認事項は2014年4月5日 地区名誉顧問会議において承認されたものである。

取引銀行について

2014~2015年 336-D 地区キャビネット事務局の取引銀行は次の通りとする

請 求 項 目	納 入 先
地区運営費	西京銀行 萩支店 普通預金 No2044931 ライオンズクラブ国際協会 336-D 地区 萩キャビネット 運営会計 三好一敏(みよし・かずとし)
地区大会費	西京銀行 萩支店 普通預金 No2044940 ライオンズクラブ国際協会 336-D 地区 萩キャビネット 地区年次大会会計 三好一敏(みよし・かずとし)
緊急積立金特別会計	萩山口信用金庫 萩支店 普通預金 No0532995 ライオンズクラブ国際協会 336-D 地区 萩キャビネット 緊急積立金特別会計 三好一敏(みよし・かずとし)
青少年育成基金特別会計	萩山口信用金庫 萩支店 普通預金 No0533006 ライオンズクラブ国際協会 336-D 地区 萩キャビネット 青少年育成基金特別会計 三好一敏(みよし・かずとし)
ライオンズクエスト 支援基金特別会計	萩山口信用金庫 萩支店 普通預金 No0533014 ライオンズクラブ国際協会 336-D 地区 萩キャビネット ライオンズクエスト支援基金特別会計 三好一敏(みよし・かずとし)

キャビネット幹事・キャビネット会計の担保免除について

任務の代行(案)

1、 地区ガバナー欠席の場合の任務代行は次の通りとする。

- | | |
|------------------|------|
| (1) 第一副地区ガバナー | 矢野敏明 |
| (2) 第二副地区ガバナー | 藤本幸嗣 |
| (3) 地区名誉顧問会議長 | 坂根 勝 |
| (4) 地区常任名誉顧問 | 岡村聖爾 |
| (5) 地区常任名誉顧問 | 大羽義定 |
| (6) キャビネット幹事 | 齋藤幸男 |
| (7) キャビネット会計 | 三好一敏 |
| (8) 各リジョンチェアパーソン | |

2、 リジョンチェアパーソンの事故のある時の任務代行は次のとおりとする。

- (1) リジョン内のゾーンチェアパーソン会議で決定する。

3、 ゾーンチェアパーソンの事故のあるときの任務の代行は次のとおりとする。

- (1) ゾーンチェアパーソンの所属するクラブの会長とリジョンチェアパーソンが協議のうえ決定する。

(注)慶弔時の任務代行について

山口地区・・・・・藤本幸嗣第二副地区ガバナー・岡村聖爾地区常任名誉顧問

島根地区・・・・・矢野敏明第一副地区ガバナー・坂根勝地区名誉顧問会議長

以上、お願い申し上げます。

地区の組織と役員・委員の任務について

(1)目的

地区内のライオンズクラブの融和協調を図ると共に、ライオニズムを高揚するためにライオンズクラブ国際協会の基本的活動方針に従い、地区内の各クラブの運営を円滑ならしめることを目的とする。

(2)キャビネット構成員

- 1) 地区ガバナー、前地区ガバナー、第1・第2副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネット会計、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン
- 2) 地区ガバナーが必要と認めて任命した下記委員長
PR・情報委員長、GMT委員長、GLT委員長、国際関係委員長、YCE委員長、保健福祉環境保全委員長、青少年健全育成委員長
- 3) その他地区ガバナーの任命する委員長、副幹事、副会計
(注) 複合地区会則第17条・4により前年度の地区YCE委員長は、必要があれば8月31日まで、翌年度の地区ガバナーによって任命され実務に当たらせる。地区YCE委員についても同じ。

(A) 地区ガバナー候補者の資格 (国際付則第9条4項)

- (a) 所属単一地区または準地区内のグッド・スタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッド・スタンディングの正会員であり、
- (b) 所属クラブ、あるいは所属単一地区または準地区内過半数のクラブの推薦を受け、
- (c) 現在、所属地区の第1副地区ガバナーとして、その任に当たっている者でなければならない。
- (d) 現第1副地区ガバナーが地区ガバナー選挙に立候補しない場合にのみ、あるいは地区大会の時点で第1副地区ガバナー職が空席である場合のみ、本附則または会則にさだめられている通り第2副地区ガバナーの条件を満たしている場合、更に地区キャビネット構成員として現在務めているかまたは1年を務めた場合は、本条(c)項の条件をみたしているものとする。

(注) 地区ガバナーの選挙については国際付則第9条6項(a)の規定による。(1997年国際大会において改訂)

(B) 副地区ガバナー候補者の資格 (国際付則9条6項b、c)

- (a) 所属単一または準地区内のグッド・スタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッド・スタンディングの正会員であり、
- (b) 所属クラブの推薦、あるいは所属単一もしくは準地区内の過半数のクラブの推薦を受け、
- (c) 副地区ガバナー就任の時点で
 - (1) クラブ会長を全期、または半期以上、そして理事会構成員として2年以上を務め、かつ、
 - (2) ゾーン・チェアパーソンまたはリジョン・チェアパーソン、あ

- るいはキャビネット幹事および（または）会計としても全期または半期以上務めたものでなければならない。
- (3) 上記のいずれも、同時に達成させることはできない。

(3)機 能

- 1) 地区キャビネットは前記 1) に示される構成員をもって構成される。
キャビネット構成員は地区役員となる。
前地区ガバナー、第1・第2副地区ガバナー以外のキャビネット構成員は、地区ガバナーによって任命される。
地区委員は、必要に応じて地区ガバナーによって任命される。
- 2) キャビネットは地区運営方針を協議決定し、実行する。
- 3) キャビネットの会議は複合地区会則の規定によって開かれる。
- 4) 地区ガバナーは、キャビネット会議を主宰する。
定例会議は年4回とし、その他必要に応じて開くことができる。これらの会議では、地区ガバナー、前地区ガバナー、第1第2副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネットと会計、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン及び地区委員長に投票権が与えられる。
336-D地区においては、第1回と第4回はキャビネット所在地、第2回は前キャビネット所在地、第3回は次期キャビネット候補地において開催する慣習となっている。
- 5) 地区名誉顧問会
従前の例により、地区ガバナーが委嘱した名誉顧問をもって構成する。
常任名誉顧問は原則として地区名誉顧問会議長を含め、直近地区ガバナーを務めた4名とする。
常任名誉顧問は主として、キャビネット会議の議事に関して地区ガバナーの諮問に答え、地区行政の円滑化を図るため、必要に応じて常任名誉顧問会を開催する。元国際理事は相談役として会議に出席する。
- 6) 地区ガバナーはキャビネット構成員以外の者を、必要に応じて会議に招集し諮問することができる。

①リジョン・チェアパーソン（国際附則第10条第2項）

リジョン・チェアパーソン（以下RCという）は地区ガバナーの指導監督のもとに、リジョンの最高運営責任者となる。具体的な任務は次の通りである。

- (イ) 本協会の目的を推進する。
- (ロ) リジョン内のゾーン・チェアパーソンの活動並びに地区ガバナーの任命する地区委員長の活動を監督する。
- (ハ) 地区内における新クラブ結成及びクラブ強化を含む会員増強に積極的役割を果たす。
- (ニ) クラブ・レベルにおける指導者育成に積極的役割を果たす。
- (ホ) 地区役員必携及びその他指示に従い、国際理事会が要請するその他任務を遂行する。

②ゾーン・チェアパーソン（国際附則第10条第2項）

ゾーン・チェアパーソン（以下ZCという）は地区ガバナー及びRCの指導監督のもとに、ゾーンの最高運営責任者となる。具体的な任務は次の通りである。

- (イ) 本協会の目的を推進する。
- (ロ) ゾーン内における地区ガバナー諮問委員会委員長を務め、同委員長として同委員会の定例会議を招集する。少なくとも3回主宰する。会議後5日以内に報告書を国際協会、地区ガバナー、RCに送付する。
- (ハ) 新クラブ結成を含む会員増強に積極的役割を果たす。必要に応じ、ゾーン内クラブの会長等を集めた会議を開き、RCに報告し、地区ガバナーに報告書の写しを送る。
- (ニ) 新クラブの結成を含む会員増強に積極的役割を果たす。
- (ホ) 地区役員必携及びその他指示に従い、国際理事会が要請するその他任務を遂行する。

③地区委員長

地区委員長はキャビネットの構成員として、地区ガバナーの指揮のもとに、担当分野の政策立案、推進に当たると共に、キャビネットにおける専門分野のスタッフとして、ガバナーを補佐する。

地区委員長の性格付に伴って、次の点が明確になります。

- (イ) 奉仕作業の実施主体は、単一クラブであり、キャビネットは指導、推進の立場にあります。
- (ロ) 単一クラブとキャビネットを結ぶラインは、リジョンの運営責任者であるRCとゾーンの運営責任者であるZCであります。
- (ハ) 各種委員会の施策推進に当たっては、地区委員長（含地区委員）とRC、ZCの連携によって行われます。

- (ニ) 従って単一クラブへの指導は、原則としてZ Cを通じて行われます。
- (ホ) 地区委員長は、自ら政策を立案し、キャビネット会議に提案します。決定した事項のクラブへの対応はR C、Z Cのルートを通じるのが本来のあり方です。お互いによく連携し、骨身を惜しまず行動することが大切でしょう。

④地区委員

地区委員は、キャビネット構成員に該当しないので、地区役員ではありませんが、地区委員会活動を活発にする重要な役割を担います。

- (イ) 地区委員は各種地区委員会を構成する委員です。従って地区委員長に直属し、その指示を受けます。
- (ロ) 地区委員は担当リジョンを定めて、そのリジョンから任命されるケースが多いようですが、その委員会の各リジョンを担当する役目だという考えは基本的になくした方がよいでしょう。

2014~2015 年
キャビネット旅費・慶弔規定について(案)

(1) 旅費規程

	交通費	宿泊
役員	航空機(航空路線のあるところ) 列車(在来線・新幹線・急行・特急) 汽船(特等)	実費 (上限 10,000 円)
職員	列車(普通) 汽船(2等)	実費 (上限 10,000 円)

(注)

- 1、旅費はキャビネット会議及び委員会に出席、又は出張の場合に支給する。
- 2、交通費は JR 最短距離路線の運賃及び指定席実費とする。50km 超える場合は特急を利用できる。
- 3、職員が役員と同行の場合は必要に応じて役員並とすることができる。
- 4、宿泊費は用務の都合で宿泊を必要とする場合のみ実費(上限 10,000 円)を支給する。
- 5、諸会議・研修会等の開催地を包括するゾーン内の出席者には、旅費を支給しない。但し、ガバナーが認める場合はその限りではない。
- 6、この規定は 2014 年 4 月 26 日より実施。

(2) 慶弔規定

- 1、特別な慶弔には祝電・祝辞・弔電を贈る
- 2、地区名誉顧問、キャビネット構成員及び地区委員については次による。
 - a) 死去したときは香典 ¥10,000 を贈る(同居家族の場合は弔電を贈る)
 - b) 病気・障害等により入院または自宅加療の期間が 3 週間以上となるときは見舞金 ¥5,000 を贈る
 - c) 災害、風水害等の災害があったときは見舞金を贈る。その額はガバナーが決定する。
- 3、クラブ会長・幹事・会計が死去したときは、¥10,000 の香典を贈る。
その他の会員に対しては弔電を贈る
- 4、献眼者等の葬儀に対しては ¥10,000 円の香典を贈る。

336-D地区 リジョン連絡会議ガイドライン

これまでも各リジョンでは、役員連絡会議等の名目で開催されていたとは思いますが、ここにモデルケースとしての、会議のガイドラインを提案いたしましたので内容をよくご理解の上、運営していただくようお願いいたします。

(1) リジョン連絡会議の目的

リジョン連絡会議はガバナーの方針に則り、リジョン内の各クラブの円滑な運営と、地区委員会のそれぞれの方針、計画、実施を当該リジョン内へ浸透させることを目的に、報告、連絡、活動報告の検討、決定等を行います。

(2) 主催者

RCが主催する。

(3) RCは各ZC、各地区委員会及びそれぞれの方針、計画等について、全員の報告、連絡を重視し、各々について全員が理解を深めるように努める。本会議は年間に4回は最低必要と考えられる。

(4) 出席者

RC及び(当該リジョン所属の)各ZC、地区委員長、各地区委員及びその他の関係者・・・地区名誉顧問及び地区役員の出席を特に求めてその助言を受ける。

(5) 会議内容(参考例)

- 新年度ガバナー地区運営基本方針の確認、並びに、年間活動計画(案)の作成、研修会準備、連携活動についての相互連絡、新・旧役員の引継ぎ会、その他。
- ガバナー公式訪問準備、第1回諮問委員会準備、クラブ訪問計画、報告、相互連絡、連携活動等、その他。
- 第2回諮問委員会準備、報告、相互連絡、連携活動、その他。
- ガバナーズアワードについての準備、第3回諮問委員会準備、報告、相互連絡、連携活動等、その他。
- 次回地区委員推薦決定会議、次期への引継ぎ資料の準備についての報告、相互連絡、連携活動等、その他。
- 新・旧役員引継ぎ(引継ぎ、申し送り事項等を、文書資料で次期担当者へ引き渡す)

(6) 各地区委員は委員会(委員長)の方針、計画に沿って、この実施を各クラブへ推進するよう、ガバナー公式訪問、諮問委員会、その他の方法(クラブ訪問の場合はRCまたはZCと一緒に、又は単独等)を活用して浸透をはかる為に、各担当リジョン内における年間活動計画(案)を作成し、6月15日までに所属委員長に提出してください。

- (7) 各Z C、委員長は所属R Cのラインを尊重した活動方針計画を、当該リジョンの各クラブに浸透させるために、各々の年間活動計画（案）を6月22日までにR C（委員長はガバナーへも）に提出して下さい。
- (8) 各R Cは、各々の年間計画書（案）を6月27日までにガバナーに提出して下さい。

地区役員連携活動について

(1) 新旧役員引継ぎ

口頭の引継ぎはできるだけ避けて、資料による文書の形で引き継ぎを受けてください。

(2) 地区役員年間活動計画（案）の提出

- 1) 各地区委員は、各リジョンが担当エリアであることを踏まえて、地区委員長の方針に沿って、各RC、ZCとの連携活動を重視して年間活動計画書（案）を、地区委員長と担当のZCに提出してください。

提出期限 6月15日

- 2) 地区委員長は、事業活動計画書（案）を、上記を踏まえて立案しRCとガバナーに提出してください。

提出期限 6月22日

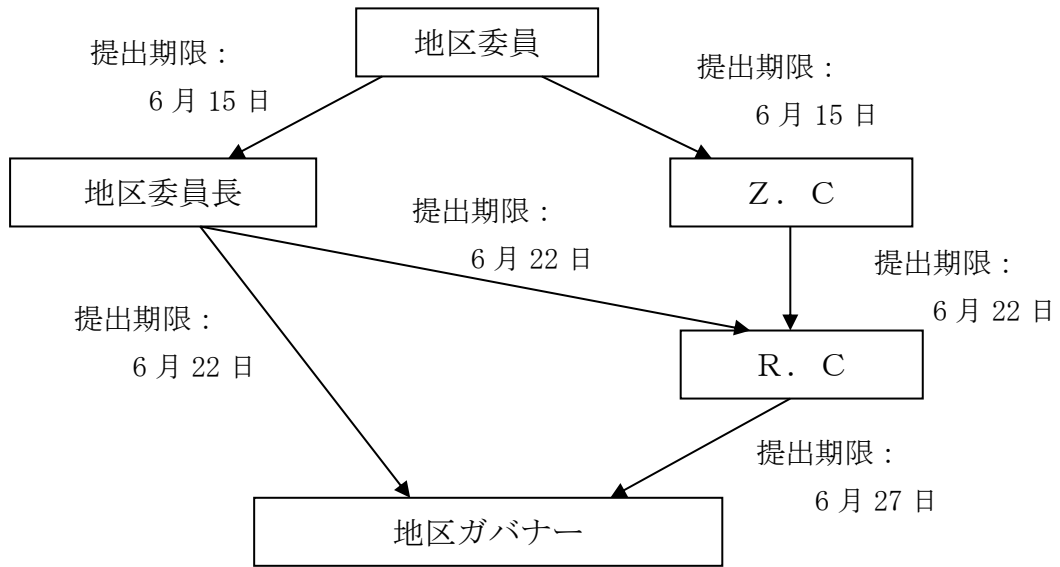
- 3) ZCは、地区委員と連携して、上記を踏まえた活動計画書（案）を担当のRCに提出して下さい。

提出期限 6月22日

- 4) RCは上記を踏まえて活動計画書（案）をガバナーに提出してください。

提出期限 6月27日

年間事業・活動計画書（案）



提出期限 _____ 月 _____ 日 _____ 年間計画書（案）

R Z 役職： _____ 氏名： _____

月 日	事業活動計画（研修会も含む）	場 所	対 象
（ 摘 要 ）			

地区名誉顧問会議承認事項

副地区ガバナーの選出について

(2011年12月6日)

94年度より副地区ガバナーの選出が規定され、次年度副地区ガバナーがガバナーに立候補するときは、他の者は立候補できないので、地区としては副地区ガバナーの選出をする事になる。また、2009年より、第二副地区ガバナー選出がタイ・バンコク国際大会で決議された。

(1) 第1、第2副地区ガバナーに立候補者がある場合は、第2回キャビネット会議までに、クラブの推薦ゾーン及びリジョンの理解を求め、チーフゾーンチェアパーソンを通じて、地区ガバナーまで届け出ることとする。

(2) リジョンのローテーションによる選出をする場合は、地区名誉顧問会議での申し合わせの通り、リジョンによるローテーションに従い、第2回キャビネット会議までに、チーフゾーンチェアパーソンから地区ガバナーに届け出ることとする。

(3) 立候補者及びローテーションによるリジョンからの推薦が共にあった場合は、ローテーションによる副地区ガバナー候補者を優先する。

(4) リジョンによるローテーションでなく、立候補者が複数となった場合の手続きについては、慎重かつ早急に考慮すべき事項であるとの合意を得た。

(5) 第2回キャビネット会議までに、立候補者及びローテーション通りのリジョンから副地区ガバナーの推薦が共にない場合は、そのリジョンが属する県以外のリジョンにおいて選出の交代をお願いする。

(6) ローテーションによる選出ができなかったリジョンは、正規のローテーションの順番に至るまで副地区ガバナーの推薦を行うことはできない。但し、交代したリジョンの賛同が得られ、且つ推薦できる場合はその限りではない。

(7) 選出にあたっては、地区名誉顧問の方々ともご相談をし、ご協力を頂くとの合意を得た。

第 60 回地区年次大会決議事項

第 1 号議案

336-D 地区 会費値上げについて

複合地区会則 24 条 3 項による、会費を次の通りとする

地区会費 1 名当たり 1 ヶ月

地区費 900 円

地区大会費 180 円

合計 1,080 円

上記を上期、下期に分けて 6 ヶ月分を前納する

第 2 号議案

二人目以降の家族会員の 336-D 地区費及び年次大会費の免除について

2013～14 年度下半期分及び 2014～15 年度の 336-D 地区会費について、二人目以降の家族会員の地区費及び地区年次大会費を免除したい。また、その他経費の拠出については、その可否をキャビネット会議で決定するものとしたい。

第 3 号議案

336-D 地区緊急援助資金の補填について

336-D 地区緊急援助資金の基金及び援助引当金から合計 2,500,000 円を取り崩し交付した。

この結果、現在 (2013/12/31) の残高 3,659,096 円である

336-D 地区緊急援助資金規定に「基金の額は最低 500 万とする」定められているので、補填が必要である。次期キャビネット期首会員数を 2,950 人 (家族会員を除く) と見込んでいるので、一人当たり 500 円を拠出をお願いしたい。

$3,659,096 \text{ 円} + 1,475,000 \text{ 円} (500 \text{ 円} \times 2,950 \text{ 人}) = 5,134,096 \text{ 円}$

5,000,000 円 基金

134,096 円 援助引当金

第 4 号議案

二人目以降の家族会員の 336 複合地区費及び年次大会費の免除について

2013～14 年度下半期分及び 2014～15 年度の複合地区会費について、二人目以降の家族会員の複合地区費及び複合年次地区大会費を免除したい。

※5 月 18 日 複合年次大会にて廃案

各種会議日程(案)

1、キャビネット会議

- | | | | | |
|-----|-------|-----------|-----|---|
| 第1回 | 2014年 | 7月26日(土) | 萩市 | : |
| 第2回 | 2014年 | 11月29日(土) | 松江市 | : |
| 第3回 | 2015年 | 2月14日(土) | 松江市 | : |
| 第4回 | 2015年 | 4月4日(土) | 萩市 | : |

2、地区名誉顧問会議

- | | | | | |
|-----|-------|----------|----|---|
| 第1回 | 2014年 | 4月25日(金) | 萩市 | : |
|-----|-------|----------|----|---|
- 他必要時随時開催

3、地区常任名誉顧問

- | | | | | |
|-----|-------|-----------|-----|---|
| 第1回 | 2014年 | 7月26日(土) | 萩市 | : |
| 第2回 | 2014年 | 11月29日(土) | 松江市 | : |
| 第3回 | 2015年 | 2月14日(土) | 松江市 | : |
| 第4回 | 2015年 | 4月4日(土) | 萩市 | : |

4、各委員会 分科会

- | | | | | |
|-----|-------|-----------|-----|---|
| 第1回 | 2014年 | 7月26日(土) | 萩市 | : |
| 第2回 | 2014年 | 11月29日(土) | 松江市 | : |
| 第3回 | 2015年 | 2月14日(土) | 松江市 | : |
| 第4回 | 2015年 | 4月4日(土) | 萩市 | : |

5、各種研修会

随時開催

2014～2015 ガバナー公式訪問予定日程(案)

R	Z	月	日	曜	公式訪問クラブ	ホストクラブ ZC 所属	ZC 氏名
1	1	9	10	水	安来・出雲広瀬・東出雲・ 安来十神・伯太・八雲	安来	小林一夫
	2	9	19	金	松江・松江湖城・大東・穴道 鹿島島根・美保関・松江葵・ 隠岐海士	松江	足立 守
2	1	9	12	金	出雲・平田・大社・佐田・ 多伎町	平田	土江陽治
	2	9	13	土	出雲中央・斐川・出雲南・ 出雲レークヒル	出雲南	陰山洋二
	3	9	4	木	木次・三刀屋・賀茂島根・ 仁多・掛合・赤来・頓原・ 横田	頓原	後藤英夫
3	1	9	5	金	大田・石見・邑智大和・ 瑞穂	瑞穂	竹辺正人
	2	9	6	土	浜田・江津・益田・浜田亀山 益田あけぼの・金城抱月・ 桜江・浜田マリン	浜田	小谷典弘
4	1	9	16	火	岩国・岩国錦・岩国桜・由宇	岩国	野田勝人
	3	8	30	土	柳井・大島・田布施・柳井中 央・大島オレンジ・平生・大 島中央	柳井	田村啓治
5	1	8	23	土	下松・徳山・光・新南陽・ 徳山東・徳山中央・下松中央 ・周南・新南陽若山	光	中林嘉明
	3	9	27	土	防府・防府中央・防府ゴール デン	防府	渡邊弘信
	4	8	6	水	山口・山口西京・山口中央	山口中央	松本 豊

R	Z	月	日	曜	公式訪問クラブ	ホストクラブ ZC 所属	ZC 氏名
6	1	8	8	金	宇部・宇部ときわ・宇部新川・宇部かたばみ・宇部サルビア・宇部ハーモニー	宇部 ときわ	仲田眞一
	2	8	5	火	小野田・美祢・山陽・楠	楠	田辺敏彦
	3	8	7	木	萩・長門・秋芳・田万川	萩	小田芳男
7	1	8	21	木	下関・下関東・下関西・下関長府・下関北・下関響灘・下関新下関・下関維新	下関 新下関	田上 登
	2	8	22	金	豊浦・豊田山口・菊川・豊北・下関中央	豊浦	林 透

次期キャビネット 活動計画(案) (2014年2月～2015年7月)

2014年

月	日	曜日	事業活動計画	場所	備考
2	1	土	次期キャビネット事務局立上げ	萩市	
	15	土	第3回地区名誉顧問会・RC・ZC会議 第3回委員長会議 第3回委員会	萩市	
	16	日	第3回キャビネット会議	萩市	
3	28	金	複合次期五役研修会	倉敷市	
	29	土	複合次期五役研修会	倉敷市	
4	5	土	第4回地区名誉顧問会・RC・ZC会議 第4回委員長会議 第4回委員会	松江市	
	6	日	第4回キャビネット会議	松江市	
	19	土	第60回地区年次大会・代議員会・晩餐会	松江市	
	20	日	第60回地区年次大会	松江市	
	25	金	第1回地区名誉顧問会議	萩市	
5	17	土	第60回複合地区年次大会代議員会・晩餐会	倉敷市	
	18	日	第60回複合地区年次大会	倉敷市	
	23	金	ガバナー協議会	岡山	
	24	土	次期地区役員・委員研修会	萩市	千春楽
	30	金	複合ガバナー協議会	岡山市	
	31	土	次期4～7Rクラブ三役研修会	萩市	萩至誠館大学
6	13	金	6R3Z 諮問委員会 引継ぎ	萩市	
	14	土	次期1～3Rクラブ三役研修会	浜田市	浜田県立大学
7	1	水	国際大会 トロント	トロント	
	2	木	国際大会 トロント	トロント	
	3	金	国際大会 トロント	トロント	
	4	土	国際大会 トロント	トロント	
	5	日	国際大会 トロント	トロント	
	6	月	国際大会 トロント	トロント	
	7	火	国際大会 トロント	トロント	
	8	水	国際大会 トロント	トロント	

月	日	曜日	事業活動計画	場所	備考
7	9	木	国際大会 トロント	トロント	
	24	木	YCE サマーキャンプ	徳島	
	25	金	YCE サマーキャンプ	徳島	
	26	土	YCE サマーキャンプ	徳島	
	27	日	YCE サマーキャンプ	徳島	
	26	土	第1回地区名誉顧問 第1回キャビネット会議 懇親会	萩市	千春楽
8	5	火	6R2Z 公式訪問	宇部市	
	6	水	5R4Z 公式訪問	山口市	
	7	木	6R3Z 公式訪問	萩市	
	8	金	6R1Z 公式訪問	宇部市	
	14	木	第1回ガバナー協議会	徳島市	
	21	木	7R1Z 公式訪問	下関市	
	22	金	7R2Z 公式訪問	下関市	
	23	土	5R1Z 公式訪問	光市	
	30	土	4R3Z 公式訪問	柳井市	
9	4	木	2R3Z 公式訪問	飯石郡	
	5	金	3R1Z 公式訪問	邑智郡	
	6	土	3R2Z 公式訪問	浜田市	
	10	水	1R1Z 公式訪問	安来市	
	12	金	2R1Z 公式訪問	出雲市	
	13	土	2R2Z 公式訪問	出雲市	
	16	火	4R1Z 公式訪問	岩国市	
	19	金	1R2Z 公式訪問	松江市	
	27	土	5R3Z 公式訪問	防府市	
	28	日	下関維新 LC 認証 5 周年	下関市	
10	2	木	宇部 LC55 周年記念	宇部市	ANA クラウン ラザホテル宇部
	18	土	複合第2回ガバナー協議会	萩市	
	19	日	出雲中央 LC 認証 50 周年		
11	8	土	平田 LC 認証 50 周年		
	13	木	OSEAL フォーラム	仁川	
	14	金	OSEAL フォーラム	仁川	

月	日	曜日	事業活動計画	場所	備考
11	15	土	OSEAL フォーラム	仁川	
	16	日	OSEAL フォーラム	仁川	
	22	土	新南陽 LC50 周年記念	徳山	
	29		第 2 回地区名誉顧問会 第 2 回キャビネット会議 懇親会	松江	ホテル 宍道湖
			掛合 LC45 周年記念		

2015 年

月	日	曜日	事業活動計画	場所	備考
1	24	土	第 3 回ガバナー協議会	米子市	
2	14	土	第 3 回地区名誉顧問会 第 3 回キャビネット会議 懇親会	松江市	ホテル 宍道湖
	22	日	浜田マリン LC10 周年記念大会		
3	14	土	下関長府 LC 認証 50 周年記念大会	下関市	
	15	日	岩国桜 認証 LC50 周年	岩国市	
	22	金	益田あけぼの LC35 周年		
	27	金	第 4 回ガバナー協議会	福山市	
	28	土	ガバナー協議会 次期五役研修会	福山市	
4	4	土	第 4 回地区名誉顧問 第 4 回キャビネット会議 懇親会	萩市	千春楽
	11	土	防府中央 LC 50 周年記念式典	防府市	
	18	土	第 61 回地区年次大会 代議員会・晚餐会	萩市	
	19	日	第 61 回地区年次大会	萩市	
	25	土	下関響灘 LC 40 周年記念式典	下関市	下関シーモールパレス
5	10	日	木次 LC 認証 50 周年記念大会	雲南市	
	23	土	複合年次大会	高松市	
	24	日	複合年次大会	高松市	
	30	土	浜田亀山 LC40 周年記念式典	浜田市	
6			第 5 回ガバナー協議会	高松市	

ライオンズクラブ国際協会 336-D地区組織表 (2014~2015)

地区名 著 顧問会議長	坂根 勝	松江	
第1副地区 ガバナー	矢野 敏明	松江葵	
第2副地区 ガバナー	藤本 幸嗣	平生	
キャビネット 幹事	齋藤 幸男	萩	
キャビネット 副幹事	阿合 孝徳	松江葵	
	廣畑 雅弘	萩	
	宮本 直治	萩	
	岩川 宗和	萩	
	岡田 和好	長門	
	下井 克己	秋芳	
	森田 哲弘	田万川	
キャビネット 会計	三好 一敏	萩	
キャビネット 副会計	富川 芳人	萩	
リジョン エグゼクティブ メンバー	1R	森山 浩吉	松江湖城
	2R	牛尾 尚義	出雲南
	3R	柘植 實	石見
	4R	大濱 茂生	大島オレンジ
	5R	寺田 一男	防府中央
	6R	大谷 昭治	楠
	7R	井上 哲治	豊北

地区ガバナー	竹下 雅雄	萩
--------	-------	---

元国際理事	下関西	常任
谷野 徹	松江	
地区名譽顧問会議長	松江	
坂根 勝	浜田亀山	
336複合地区ガバナー 兼 副元議長	下関北	常任
永井 義夫	益田	常任
元地区ガバナー 地区名譽顧問	あけぼの	
岡村 聖樹	岩国錦	常任
元地区ガバナー 地区名譽顧問	東出雲	
大羽 義定	山口	
元地区ガバナー 地区名譽顧問	山陽	
光貞 正明	防府	
元地区ガバナー 地区名譽顧問	ゴールデン	
組 謙 一	山口	
元地区ガバナー 地区名譽顧問	宇部ときわ	
倉益 芳太	松江葵	
元地区ガバナー 地区名譽顧問	岩国錦	
山下 薫	出雲中央	
元地区ガバナー 地区名譽顧問	宇部新川	
前村 陸規	浜田	
元地区ガバナー 地区名譽顧問		
岩田 篤明		
元地区ガバナー 地区名譽顧問		
加藤 哲夫		
元地区ガバナー 地区名譽顧問		
緒方 正道		
元地区ガバナー 地区名譽顧問		
向 正美		

日本ライオンズ連絡事務局
〒104-0061
東京都中央区銀座4-12-19
日章興産ビル5階
TEL (03) 3547-7061 FAX (03) 3547-7076

336複合地区ガバナー協議会
〒700-0907
岡山県岡山市北区下石井2-1-18
ORIX岡山下石井ビル9F
TEL (086) 234-0695 FAX (086) 234-0495

336-D地区キャビネット事務局
〒758-0025
山口県萩市大字土原川島沖田488の3
土原齒科ビル2F
TEL (0838) 21-7257 FAX (0838) 21-7258

ライオンズクラブ国際協会日本事務局
〒141-0031
東京都品川区西五反田7-22-17
T.O.Cビル6F16号 私書箱445
TEL (03) 3494-2931 FAX (03) 3494-2933

1R	小林 一夫	安来	安来・出雲広瀬・東出雲・安来十神・伯太・八雲	6
2R	足立 守	松江	松江・松江湖城・大東・宍道・鹿島島根・美保関・松江葵・隠岐海士	8
1Z	土江 陽治	平田	出雲・平田・大社・佐田・多伎町	5
2Z	陰山 洋二	出雲南	出雲中央・斐川・出雲南・出雲レークヒル	4
3Z	後藤 英夫	頓原	木次・三刀屋・加茂島根・仁多・掛合・赤来・頓原・横田	8
1Z	竹辺 正人	瑞穂	大田・石見・邑智大和・瑞穂	4
2Z	小谷 典弘	浜田	浜田・江津・益田・浜田亀山・益田あけぼの・金城抱月・松江・浜田マリン	8
1Z	野田 勝人	岩国	岩国・岩国錦・岩国桜・由宇	4
3Z	田村 敬治	柳井	柳井・大島・田布施・柳井中央・大島オレンジ・平生・大島中央	7
1Z	中林 嘉明	光	下松・徳山・光・新南陽・徳山東・徳山中央・下松中央・周南・新南陽若山	9
3Z	渡邊 弘信	防府	防府・防府中央・防府ゴールデン	3
4Z	松本 豊	山口中央	山口・山口西京・山口中央	3
1Z	仲田 眞一	宇部	宇部・宇部ときわ・宇部新川・宇部かたばみ・宇部サルビア・宇部ハーモニー	6
2Z	田辺 敏彦	楠	小野田・美弥・山陽・楠	4
3Z	小田 芳男	萩	萩・長門・秋芳・田万川	4
1Z	田上 登	下関新下関	下関・下関東・下関西・下関長府・下関北・下関豊雄・下関新下関・下関維新	8
2Z	林 透	豊浦	豊浦・豊田山口・菊川・豊北・下関中央	5

獅子吼編集員

1R	渡辺 順一	松江葵
2R	前田 清行	斐川
3R	後山 宏昌	江津
4R	伊藤 秀行	大島
6R	佐貫 龍平	宇部サルビア
7R	織田 学	下関豊雄

1R	中村 進	安来
2R	野村 明	出雲
3R	岩土 政弘	金城抱月
4R	田中 篤治	岩国
5R	渡邊 輝明	新南陽若山
7R	米村 仁治	豊田山口

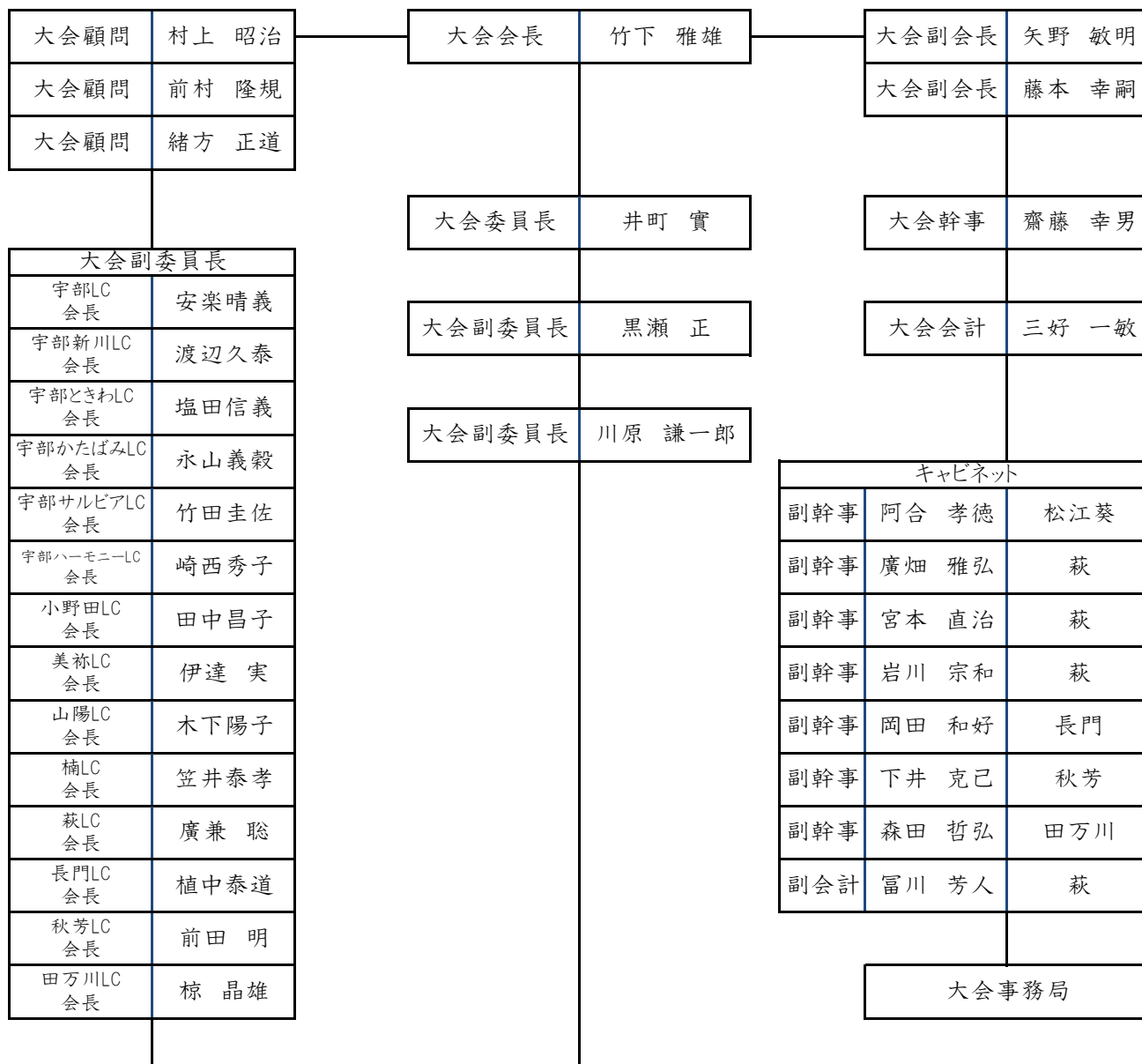
1R~7R	小畑 猛	掛合
-------	------	----

年次大会委員長	井町 實	萩
年次大会副委員長	黒瀬 正	長門
年次大会副委員長	川原謙一郎	萩

地区会計監査委員	上山慶市	益田あけぼの
	田中 寿	下関北

PR・情報委員長	増山 健治	萩
GMTコーディネーター	土江 陽治	平田
GLTコーディネーター	浅田 保彦	下関中央
国際関係委員長	大野 美雄	松江
YCE委員長	三好 昇	山口西京
保健福祉環境保全委員長	前村きみこ	宇部ハーモニー
青少年健全育成委員長	武波 博行	楠

第61回地区年次大会運営組織表(案)



大会運営部会				
部会	部会長	副部会長	部員	担当クラブ

ライオンズクラブ国際協会336複合地区組織表(2014~2015年度)

(2014/3/5現在)

336複合地区ガバナー協議会構成員			
議長	松前龍宗	A	高松玉藻
副議長	木内千春	A	板野
副議長	竹下雅雄	D	萩
幹事	松尾敏弘	C	福山中央
会計	別所清平	B	米子

336複合地区ガバナー協議会顧問			
武久一郎	A	徳島城山	
谷野徹	D	下関西	
藤井基博	C	福山東	
名越勉	B	倉吉	

336複合地区各委員長			
会則・運営マニュアル編集委員長	岡村聖爾	D	下関北
PR・ライオンズ情報・IT委員長	池田康彦	C	広島
YCE・国際関係委員長	長谷川憲男	A	高知桂
青少年・ライオンズクエスト委員長	金岡誠	B	高梁
大会参加・迎接・プロトコル委員長	福永栄一	C	広島ニュー
環境保全・保健福祉委員長	菅武廣	A	松山湯築

日本8複合地区各種委員会委員			
国際理事候補者選挙管理委員会			
委員	井上亮二	B	倉敷中央
ライオン誌日本語版委員会			
委員	寺越慎一	C	広島平和
日本ライオンズ連絡事務所監査委員			
ライオン誌日本語版監査委員			
委員	坂根勝	D	松江

G	M	T
コーディネーター	渡部雅文	B 倉敷西
メンバー	橋本充好	A 高知柏
メンバー	尾崎博	B 岡山西
メンバー	片岡文彰	C 尾道
メンバー	矢野敏明	D 松江葵

G	L	T
コーディネーター	井上亮二	B 倉敷中央
メンバー	真鍋隆	A こんびら
メンバー	大谷博	B 岡山
メンバー	安田克樹	C 竹原
メンバー	藤本幸嗣	D 平生

運営マニュアル編集委員会			
副委員長	山地章靖	A	坂出白峰
委員	一井淳治	B	岡山後楽
委員	迫越正彦	C	呉うるめ

LCIF委員会			
コーディネーター	大羽義定	D	益田あけぼの

創立100周年記念計画委員会			
委員長	井上亮二	B	倉敷中央

緊急援助資金委員会			
委員長	松前龍宗	A	高松玉藻
委員	木内千春	A	板野
委員	別所清平	B	米子
委員	松尾敏弘	C	福山中央
委員	竹下雅雄	D	萩

第99回ライオンズクラブ国際大会ホスト委員会			
常任委員	渡部雅文	B	倉敷西
監査委員	寺越慎一	C	広島平和

336複合地区監査委員			
委員	一井淳治	B	岡山後楽
委員	寺越慎一	C	広島平和
委員	光貞正明	D	岩国錦

東日本大震災支援委員会			
顧問	武久一郎	A	徳島城山
委員長	松前龍宗	A	高松玉藻

336複合地区第61回年次大会			
委員長	黒木福朋	A	高松玉藻

ガバナー協議会事務局運営委員会			
委員長	平賀将則	A	高松西
委員	岩佐典秀	A	藍住
委員	渡邊政則	B	米子
委員	占部裕	C	福山中央
委員	斉藤幸男	D	萩

8MDIT専門委員			
委員(正)	滝口広志	B	岡山せとうち
委員(副)	池原堅	C	福山久松

336複合地区ガバナー協議会事務局			
〒700-0907			
岡山市北区下石井2-1-18 ORIX岡山下石井ビル9F			
TEL : 086-234-0695 FAX : 086-234-0495			
E-mail : admin@lions-md336.org			